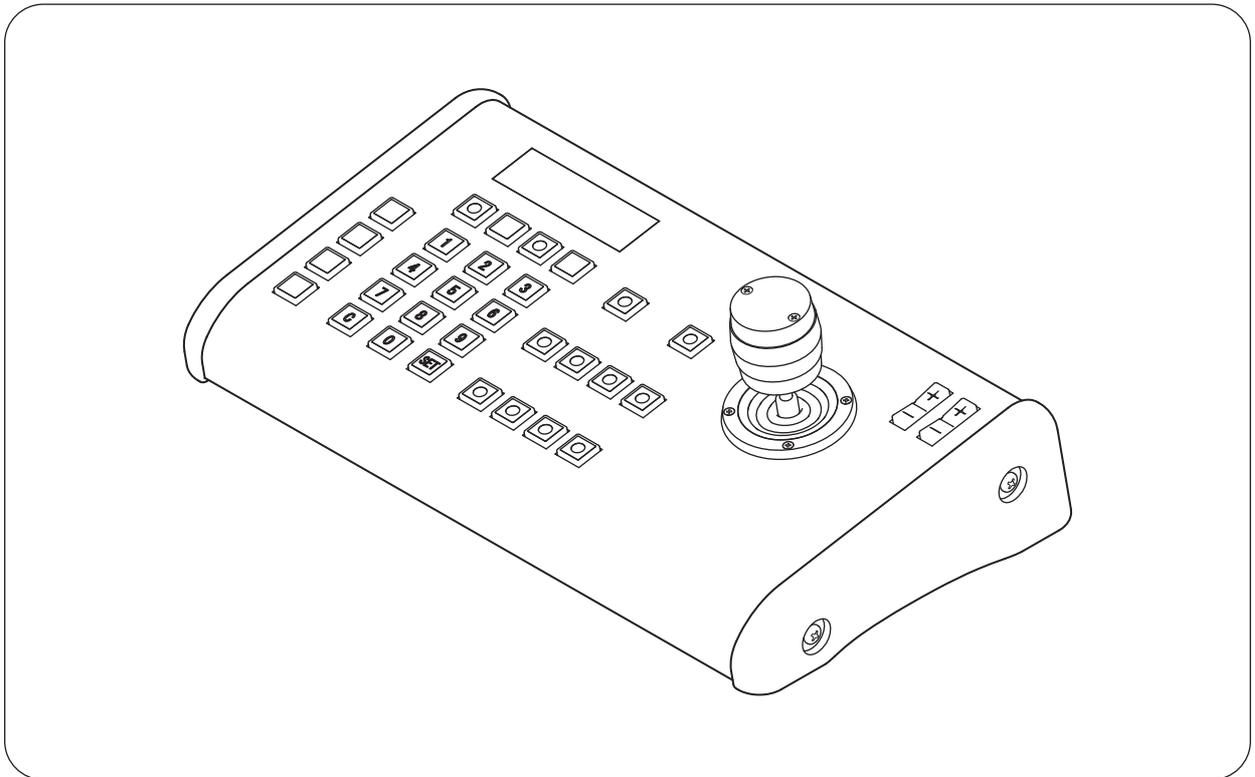




取扱説明書

リモートコントローラー

C-RM1000



このたびは、TOAリモートコントローラーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

TOA 株式会社

目次

安全上のご注意	5
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">本機の概要</div>	
概 要	7
機能の説明	7
使用上のご注意	8
接続可能な機器と最大接続台数	
本機で制御可能な機器について	8
各部の名称とはたらき	
上 面	10
後 面	12
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">操作方法</div>	
操作する機器を選択する	
デジタルレコーダーを選択する	13
グループを選択する（カスケード接続の場合のみ）	13
モニターを選択する	13
カメラを選択する	14
グループ中のカメラを選択する（カスケード接続の場合のみ）	14
モニターに表示させる	
1画面表示で見る	15
多画面表示で見る	16
4分割画面で見る	16
9分割画面で見る	17
16分割画面で見る	17
多画面の配置を変更する	18
シーケンス表示で見る	18
グループシーケンス表示で見る	19
ズーム表示で見る（電子ズーム）	20
コンビネーションカメラを操作する	
ジョイスティックでカメラの旋回、ズーム機能を動作させる	21
フォーカス機能を動作させる	21
アイリス機能を動作させる（通信方式：タイプBのみ）	22
オート機能を動作させる	22
カメラのポジションを選択する	22
フォーカススピードを設定する	23
短縮機能を利用する	23

コンビネーションカメラのメニューを表示する	23
プリセットポジションを記憶させる	24
プリセットポジションを消去する（通信方式：タイプBのみ）	24

デジタルレコーダーを操作する

録画のしかた	25
録画時のLED表示	25
緊急録画を動作させる	25
アラームイベント録画を解除する	26
ノーマル録画を動作させる	26

再生のしかた

再生モードにする	26
逆再生する	26
停止する	27
早送り／早戻し再生する	27
1分(10分)送り／1分(10分)戻し再生する	27
一時停止する	27
コマ送り／コマ戻し再生する	28
イベント飛ばしをする	28
最も古い映像を再生する（最古再生）	28
最も新しい映像を逆再生する（最新逆再生）	28

検索のしかた

デジタルレコーダーのメニューを表示する	29
モーションを設定する	30
コピーのしかた	30
トリプレックス設定のしかた	31
デジタルレコーダーのパスワードを入力する	32
ログインする	32
ログアウトする	32

その他の操作

ログインとログアウト	33
ログインする	33
ログアウトする	33
短縮番号機能を使用する	34
アラーム発生時の動作と操作	34
アラームが入力されたとき	34
ブザーを停止する	35
アラームを解除する	35
アラーム発生時の画面切換えを保留する	35
ジョイスティック位置を調整する	35

設定方法

設定のしかた

設定項目の一覧と概要	36
------------	----

リモコンメニュー表	37
設定に使用するキーと表示画面	38
設定の基本操作	39
メニューを表示する	39
メニュー表示中の操作	39
メニューを終了する	39
機能を設定する	40
グループ設定	40
短縮	41
短縮（クイック表示機能）	42
短縮（機能登録）	43
カメラプロトコル	45
パスワード	46
フォーカススピード	48
ブザー	48
キークリック音	49
I/Oスピード	49
DVRチェック	49
モニターロック	50
言語	51
出荷状態	51
拡張	51

接続方法

接続のしかた

機器の接続について	52
コンビネーションカメラ	52
デジタルレコーダー	52
インターフェースユニット	52
システム例	
基本システム	53
デジタルレコーダー拡張システム（カスケード接続）	54
リモートコントローラーとデジタルレコーダーとの接続	55

デジタルレコーダーの異常表示

リモートコントローラーの表示と状態	56
ブザーを停止する	56

困ったときに

故障かな？と思ったら	57
------------------	----

リモートコントローラー操作ガイド	58
------------------------	----

仕様	60
付属品	60
別売品	60

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号			行為を強制する記号	
				
分解禁止	禁止	接触禁止	強制	電源プラグを抜く

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

万一、異常が起きたら

次の場合、本機への電源の供給を中止し、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 音が出ないとき
- 画面が映らないとき



電源プラグを抜く

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグや制御線にはさわらないでください。感電の原因となります。



接触禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜け

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止

上に重いものを置かない

本機のバランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



禁止

ACアダプターは専用品を使用する

専用品以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。



強制

定期的に内部の掃除をする

内部の掃除については、販売店にご相談ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災の原因となることがあります。



強制

電源プラグやコンセント部の掃除をする

電源プラグを差し込んでいるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。また、電源プラグは根元まで差し込んでください。



強制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、本機への電源の供給を中止してください。

守らないと、感電・火災の原因となることがあります。



電源プラグを抜け

概要

本機は、9局／16局デジタルレコーダー（C-DR091/161シリーズ、C-DV091W-6）を遠隔で操作するためのリモートコントローラーです。デジタルレコーダーに接続されるコンビネーションカメラも操作できます。3軸ジョイスティックを装備し、主要な動作を片手で操作することができます。

機能の説明

● デジタルレコーダー制御機能

デジタルレコーダーの録画、再生を本機から制御できます。また、デジタルレコーダーのメニューを表示し、設定を変更することもできます。

● 画面表示操作機能

モニター映像を1画面、4分割、9分割、16分割（16局の場合のみ）およびシーケンス表示に切り換えて見ることができます。（モニター出力2は、1画面、4分割、シーケンス表示ができます。）

● コンビネーションカメラ操作機能

コンビネーションカメラのパン、チルト、ズーム操作やフォーカス、アイリスの調整などの制御ができます。また、コンビネーションカメラのメニューを表示し、設定を変更することもできます。

● プリセットポジション登録・再生機能

コンビネーションカメラのプリセットポジションの登録を簡単に行うことができます。また、登録したプリセットポジションの映像をモニターに表示させることができます。

● 短縮番号機能（クイック表示機能）

設定によりファンクションキー（F1～F4）および1～508までの番号にDVR番号、カメラ番号、ポジション番号を登録することができます。登録されたキーまたは番号を押すことで、カメラ映像をモニターに1画面表示できます。

● 短縮番号機能（機能登録）

設定によりファンクションキー（F1～F4）および1～508までの番号にオートフォーカス、オート動作、電子ズームなどの各種機能を登録することができます。

● デジタルレコーダーグループ機能

カスケード接続された複数台のデジタルレコーダーをグループ化することができます。グループ化されたすべてのデジタルレコーダーの映像を1台のマスターモニターに表示できます。

また、グループシーケンスを行うと、複数台のデジタルレコーダーのシーケンスを続けて見ることができます。

● パスワード設定機能

パスワードを設定し、操作できる機能に制限をかけることができます。操作レベルは3段階で、それぞれに別のパスワードを設定することができます。

● モニターロック機能

デジタルレコーダーのモニター出力1、2に対して、それぞれ操作できるモニターを限定できます。モニターを切り換える操作が不要となり、誤操作を防止することができます。

使用上のご注意

- 付属のモジュラーケーブルを使用するときには、デジタルレコーダーより電源が供給されますので、ACアダプターを接続しないでください。
- DVR 制御出力端子 A (RJ-11) は、過電圧が加わる恐れがあるネットワークに接続しないでください。感電、火災の原因になります。
- DVR 制御出力端子 A (RJ-11) は、電話回線に接続しないでください。
- ジョイスティックだけを持って本機を持ち上げたり、強く叩いたりしないでください。破損する恐れがあります。
- お手入れについて
汚れたときは、やわらかい布で拭き取ってください。シンナーやアルコールは使用しないでください。
- 本機は、屋内専用品です。屋外では使用できません。

接続可能な機器と最大接続台数

■ 本機で制御可能な機器について

本機で制御可能な機器は以下の通りです。

カメラ

[通信方式：タイプ A] : C-CC501、C-CC504、C-CC551、C-CC554

[通信方式：タイプ A、B 兼用] : C-CC511、C-CC514、C-CC571、C-CC574、C-CC602、C-CC704、
C-CC711、C-CC714、C-CC724、C-CC771、C-CC774

デジタルレコーダー 1 台あたり 16 台 (9 局の場合：9 台) 接続し、制御することができます。

ご注意

- 制御にはデジタルレコーダーが必要です。直接カメラを接続し、制御することはできません。
- カメラの制御線には、デジタルレコーダーの局数以上のカメラを接続しないでください。局数以上のカメラを接続しても制御できません。
- 異なる通信方式のコンビネーションカメラを 1 台のデジタルレコーダーに接続することはできません。すべてのカメラの通信方式は一致させてください。(参照 P. 45 「カメラプロトコル」)

デジタルレコーダー：C-DR091、C-DR161 シリーズ、C-DV091W-6

いずれかのデジタルレコーダーを最大 8 台接続し、カメラをリモートコントロールすることができます。

インターフェースユニット：C-RF1000

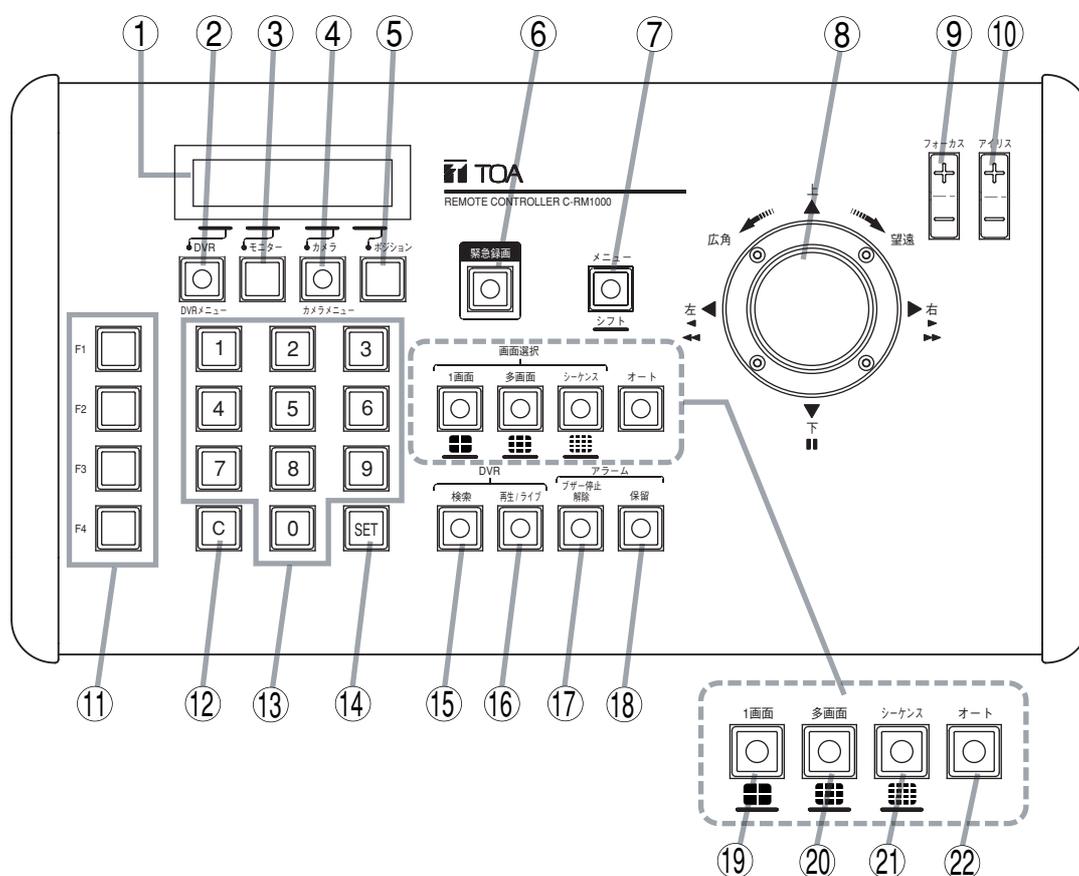
インターフェースユニットをデジタルレコーダーに接続することで、最大 4 台までのリモートコントローラーを接続することができます。リモートコントローラーからの操作は後優先となります。

本書の記述にあたって

- デジタルレコーダー番号 (DVR) : デジタルレコーダーがカスケード接続されるときDVR-ID番号をいいます。
- モニター番号 : デジタルレコーダーのモニター出力の番号をいいます。モニター出力1とモニター出力2があります。
- カメラ番号 : デジタルレコーダーに接続されているカメラの映像入力端子番号をいいます。
- ポジション番号 : コンビネーションカメラの向きを1～255の番号に登録しておくことができます。
- グループ番号 (G) : デジタルレコーダーをカスケード接続した場合、複数のデジタルレコーダーをグループ化することができます。最大で8グループを作ることができます。
- グループシーケンス : グループ化された複数台のデジタルレコーダーのシーケンス映像をマスターモニターに順番に表示することができます。
- カスケード接続 : 1台のモニターで最大8台のデジタルレコーダーの映像を監視できます。また、1台のリモートコントローラーで最大8台のデジタルレコーダーの映像切換やカメラの制御をすることができます。(参照 P. 54 「デジタルレコーダー拡張システム (カスケード接続)」)
- 緊急録画 : 最優先の録画方法です。本機の緊急録画キーを押すことで録画を開始します。
- アラームイベント録画 : アラーム入力録画とモーション録画の2つのイベントを表します。アラーム入力録画は、デジタルレコーダーまたはコンビネーションカメラのアラーム入力端子からの信号で録画を開始します。モーション録画は、デジタルレコーダーがカメラ映像の動きを検知して録画を開始します。
- アラーム保留 : アラーム信号が入力されるとモニターの表示画面が自動的に切り換わります。この画面切り換えを行わない状態をアラーム保留といいます。アラーム保留中でも、デジタルレコーダーのアラームイベント録画は行います。
- 多画面表示 : 4分割、9分割、16分割画面をいいます。
- ライブモード : 現在のカメラ映像を表示している状態をいいます。
- 再生モード : ハードディスクに録画した映像を表示している状態をいいます。
- トリプレックスモード : 再生画面とライブ画面を同時に表示している状態をいいます。トリプレックスでは再生、ライブ、録画を同時に行うことができます。
- 通信方式 : タイプA (TOA-A)、タイプB (TOA-B) の2種類があり、操作できる機能が異なります。カメラ、デジタルレコーダー、リモートコントローラーの通信方式を一致させてください。(参照 P. 45 「カメラプロトコル」)
- オート機能 : オートパン、オートトレース、プリセットシーケンス、ツアーの4種類があります。(参照 P. 22 「オート機能を動作させる」)
- モニターロック : デジタルレコーダーのモニター出力1、2に対して、それぞれ操作できるモニターを限定します。モニターを切り換える操作が不要となり、誤操作を防止することができます。

各部の名称とはたらき

[上面]



① 液晶画面

設定メニューや動作状態などの情報を文字で表示します。

② DVR / DVR メニューキー

制御するデジタルレコーダーを選択します。また、DVR グループ番号を選択するときにも使用します。2秒以上押すと選択中のデジタルレコーダーのメニューを表示します。デジタルレコーダーが記録中のときは、キーが赤色に点灯します。

③ モニターキー

本機で操作するモニターを切り換えます。モニターキーを押すごとにモニター1、2が切り換わります。

④ カメラ / カメラメニューキー

カメラ番号を選択するときを使用します。選択されたカメラがコンビネーションカメラの場合、操作することができます。また、2秒以上押すと選択中のコンビネーションカメラのメニューを表示します。

⑤ ポジションキー

コンビネーションカメラのプリセットポジションを再生・登録するときを使用します。

⑥ 緊急録画キー

緊急録画を開始します。緊急録画中はキーが点滅します。2秒以上押すと緊急録画を停止し、消灯します。(参照 P. 25 「録画のしかた」)

⑦ メニュー / シフトキー

- メニュー
各設定を行う場合に、2秒以上押すと液晶画面にメニューを表示します。(参照 P. 36 「設定のしかた」)
- シフト
⑱、⑳、㉑の分割画面を表示するときや DVR グループ番号を選択するときなどに使用します。
- パスワード
パスワードが有効なときには、2秒以上押すとパスワード入力画面を表示します。

⑧ ジョイスティック

- ライブモード中
システムに接続されているコンビネーションカメラの操作（パン、チルト、ズーム）を行います。
- 再生モード中
再生、逆再生、早送り再生、一時停止などの操作を行います。
- メニュー表示中
カーソル移動（上下、左右）および決定（右回転）、キャンセル（左回転）操作を行います。

ご注意

カメラメニュー表示中は、決定（右回転）、キャンセル（左回転）はできません。SET キーおよびC キーを使用してください。

⑨ フォーカスキー

- ライブモード中
コンビネーションカメラのフォーカスを調節します。
- 再生モード中（一時停止中のみ）
イベント飛ばし再生をします。
- デジタルレコーダーのメニュー表示中
設定値の変更に使用します。

⑩ アイリスキー

- ライブモード中
カメラのアイリスを調整します。

ご注意

通信方式がタイプAの場合は使用できません。
( P. 45 「カメラプロトコル」)

- 再生モード中
最古映像の再生、最新映像の逆再生を行います。

⑪ ファンクションキー [F1～F4]

短縮機能を割り当てるためのキーです。クイック表示や機能登録ができます。( P. 42 「短縮 (クイック表示機能)」、 P. 43 「短縮 (機能登録)」)

⑫ クリアキー [C]

テンキーの入力間違いを訂正します。また、メニュー表示中はキャンセル操作を行います。

⑬ テンキー [0～9]

DVR 番号、DVR グループ番号、カメラ番号、ポジション番号、短縮番号などを入力するときに使用します。

⑭ セットキー [SET]

テンキーとともに短縮番号の入力に使用します。短縮番号を指定せずに押しても動作しません。また、メニュー表示中は決定操作を行います。

⑮ 検索キー

検索メニューが表示されます。

⑯ 再生/ライブキー

- 再生モード中
再生を停止し、ライブモードに切り換わります。再生モード中はキーが点灯します。
- ライブモード中
再生モードに切り換わり、再生を開始します。

⑰ ブザー停止/アラーム解除キー

ブザー音を停止します。2秒以上押すとアラームイベント録画を停止します。アラームイベント録画中はキーが点滅します。また、デジタルレコーダーの機器異常が発生すると、キーが点滅します。

⑱ 保留キー

アラームイベントによるデジタルレコーダーの表示画面の切り換えを保留します。保留中はキーが点灯します。

⑲ 1画面キー/4分割キー

指定したカメラの映像を1画面表示にします。シフトキー点灯中に押すと4分割表示に切り換わります。

⑳ 多画面キー/9分割キー

各カメラの映像を多画面でモニターに表示します。押すごとに画面分割の表示が順番に切り換わります。シフトキー点灯中に押すと9分割表示に切り換わります。

㉑ シーケンスキー/16分割キー

デジタルレコーダーで設定しているシーケンスを実行します。シーケンス中はキーが点灯します。シフトキー点灯中に押すと16分割表示に切り換わります（16局の場合のみ）。

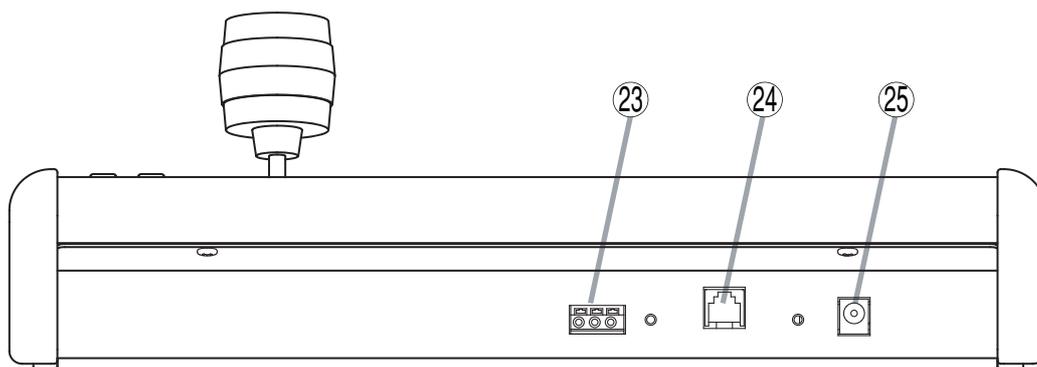
㉒ オートキー

コンビネーションカメラのオート機能をON/OFFします。オート動作中はキーが点灯します。

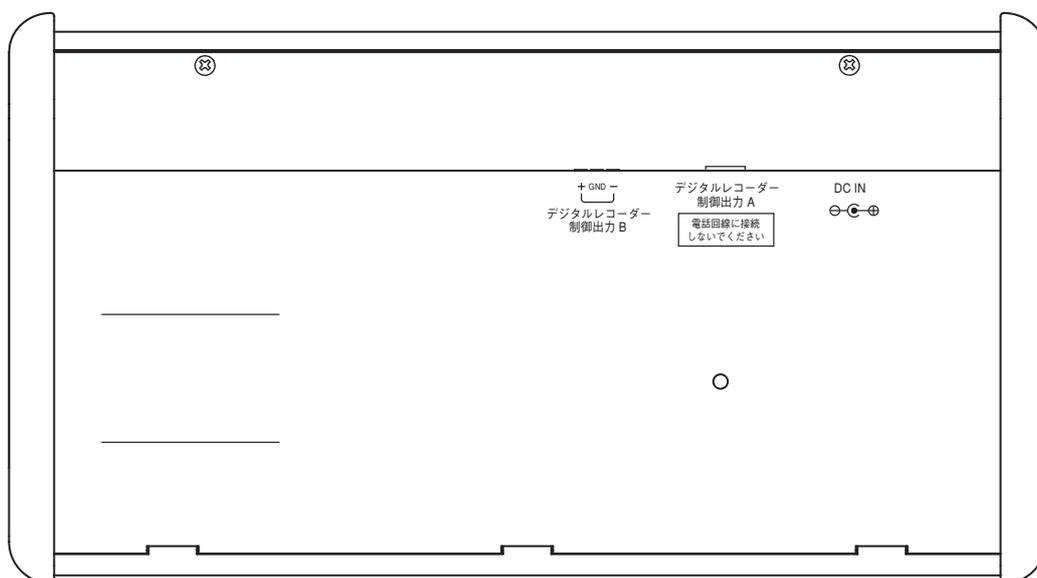
ご注意

通信方式により動作が異なります。
( P. 22 「オート機能を動作させる」)

[後面]



[底面]



②③ デジタルレコーダー制御出力 B (スクリューレス)

付属のモジュラーケーブルが使用できない場合やインターフェースユニットと接続する場合に使用します。この端子を使用するときは、付属の AC アダプター電源を使用します。

②④ デジタルレコーダー制御出力 A (RJ-11)

3 m 以内でリモートコントローラー 1 台とデジタルレコーダーを接続する場合に使用します。付属のモジュラーケーブルを使用してください。

②⑤ AC アダプター電源入力端子 [DC IN]

専用 AC アダプターの DC プラグを差し込みます。②③ デジタルレコーダー制御出力 B (スクリューレス) を使用するときは、AC アダプターを接続してください。

操作する機器を選択する

■ デジタルレコーダーを選択する

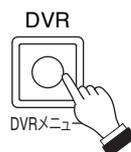
1 テンキーで操作したいデジタルレコーダーの番号を押す。

(例)



2 DVR キーを押す。

液晶画面にデジタルレコーダーの番号が表示されます。(デジタルレコーダーが接続されていない場合は、操作できません。) モニターおよびカメラは、自動的にモニター1、カメラ1を選択します。

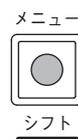
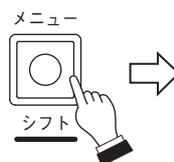


● グループを選択する (カスケード接続の場合のみ)

ご注意

- あらかじめグループを設定しておく必要があります。(参照 P. 40 「グループ設定」)
- グループ選択中は、アラーム入力や緊急録画による画面切替は行いません。

1 シフトキーを押す。



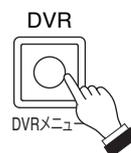
(例)



2 テンキーで操作したいデジタルレコーダーのグループ番号を押す。

3 DVR キーを押す。

液晶画面の DVR 表示部に、" G_グループ番号 " が表示されます。

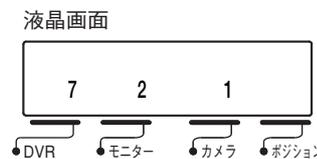
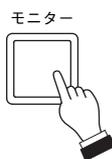
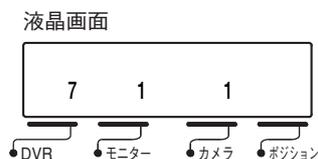
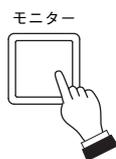


■ モニターを選択する

モニター出力ごとに表示できる機能が異なります。(参照 P. 15 「モニターに表示させる」)

モニターキーを押す。

モニターキーを押すたびに、モニター1、2が切り換わります。液晶画面にモニター番号を表示します。



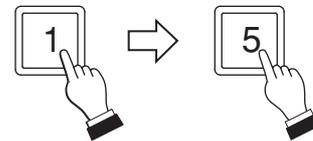
ご注意 リモートコントローラーが複数台接続されるシステムで操作できるモニターを限定した場合は、モニターロックを設定してください。(参照 P. 50 「モニターロック」)

■ カメラを選択する

表示や操作するカメラを選択します。

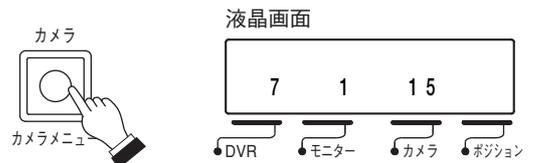
1 テンキーで選択したいカメラの番号を押す。

(例)



2 カメラキーを押す。

選択したカメラ番号を液晶画面（カメラ）へ表示します。



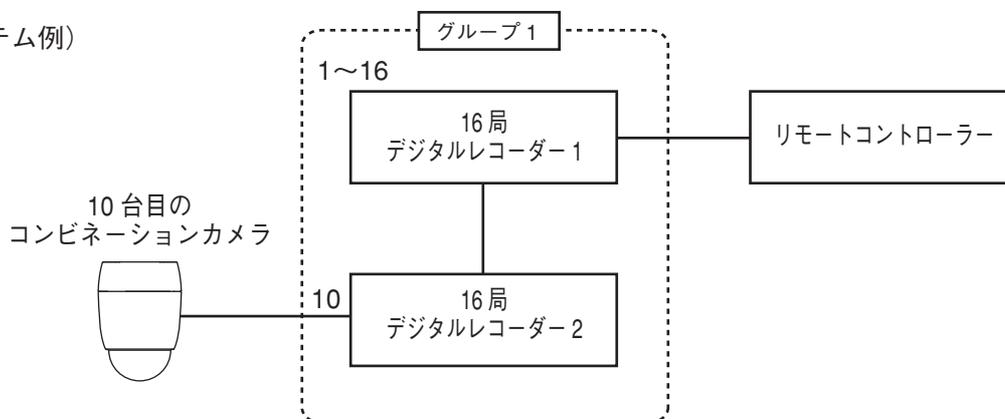
1画面表示されている
カメラ番号

● グループ選択中のカメラを選択する（カスケード接続の場合のみ）

グループ内のカメラを通し番号で選択することができます。選択されたカメラは、モニター出力1に1画面表示されます。下記システム例を参考にカメラの通り番号を選択してください。

ご注意 あらかじめグループを設定しておく必要があります。(参照 P.40 「グループ設定」)

(システム例)

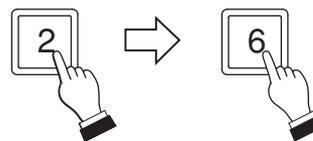


1 グループ選択中にテンキーで選択したいカメラの通り番号を押す。

システム例のようにデジタルレコーダー2の10台目のカメラを選択します。

グループ1のカメラを通し番号で見ると、デジタルレコーダー1の16台とデジタルレコーダー2の10台を合計した26番（16+10=26）となります。

(例)



2 カメラキーを押す。

選択したカメラの通り番号を液晶画面（カメラ）へ表示します。



モニターに表示させる

モニター出力1とモニター出力2で表示できる機能が異なります。

機能	ライブモード					再生モード				電子ズーム	カスケード映像
	1画面	4分割	9分割	16分割*	シーケンス	1画面	4分割	9分割	16分割*		
モニター出力1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
モニター出力2	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×

機能	デジタルレコーダーメニュー	検索メニュー	配置設定画面	トリプレックス設定画面	コピーメニュー	コンビネーションカメラメニュー
モニター出力1	○	○	○	○	○	○
モニター出力2	×	×	×	×	×	○

* 16局用のみ表示できます。

ご注意 リモートコントローラーを複数台接続するシステムでは、モニターロックを設定してください。モニターを切り換える操作が不要となり、誤操作を防止することができます。(P.50 「モニターロック」)

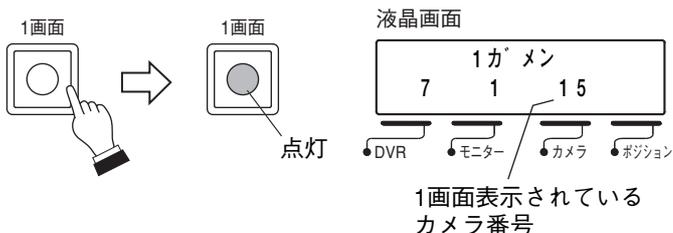
● 1画面表示で見る

1 デジタルレコーダーを選択した状態で、表示したいカメラの番号をテンキーで入力する。



2 1画面キーを押す。

指定されたカメラの映像が1画面表示され、1画面キーが点灯します。
液晶画面にカメラの番号が表示されます。



メ モ

1画面キーのみを押すと、液晶画面のカメラ部表示番号のカメラ映像を1画面表示します。

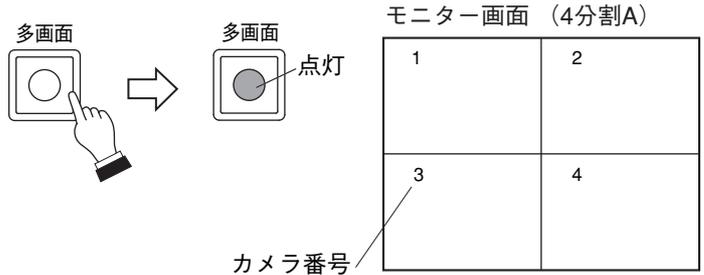
● 多画面表示で見る

ライブモードおよび再生モードで多画面キーを押すごとに、下図のように画面が切り換わります。

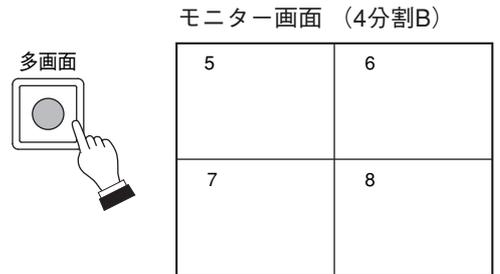


ご注意 モニター2は、ライブモードの1画面および4分割画面のみ表示できます。

- 1 デジタルレコーダーを選択した状態で、多画面キーを押す。
多画面キーが点灯し、カメラ番号1～4（4分割A）がモニターに表示されます。



- 2 多画面キーを押す。
カメラ番号5～8（4分割B）がモニターに表示されます。



- 3 手順2を繰り返して見たいカメラ番号を表示させる。
キーを押すごとに画面が切り換わり、一巡すると最初に戻って繰り返し表示されます。

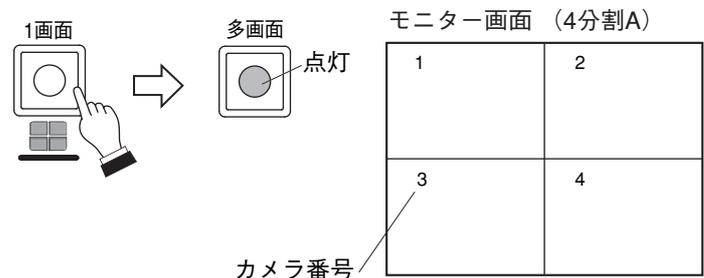
● 4分割画面で見る

- 1 シフトキーを押す。
シフトキーが点灯します。

- 2 1画面キー（4分割キー）を押す。
多画面キーが点灯し、カメラ番号1～4（4分割A）がモニターに表示されます。



- 3 手順1、2を繰り返して見たいカメラ番号を表示させる。
キーを押すごとに画面が切り換わり、一巡すると最初に戻って繰り返し表示されます。



● 9分割画面で見る

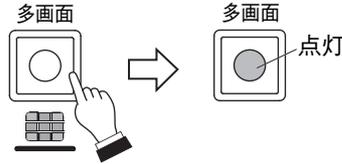
- 1** シフトキーを押す。
シフトキーが点灯します。



液晶画面

9フ ンカツ		
7	1	15

- 2** 多画面キー（9分割キー）を押す。
多画面キーが点灯し、カメラ番号1～9（9分割A）がモニターに表示されます。



モニター画面（9分割A）

1	2	3
4	5	6
7	8	9

カメラ番号

2-1 16局の場合

手順1、2を繰り返して見たいカメラ番号を表示させる。

キーを押すごとに画面が切り換わり、一巡すると最初に戻って繰り返し表示されます。

モニター画面（9分割B）

10	11	12
13	14	15
16	1	2

● 16分割画面で見る（16局の場合のみ）

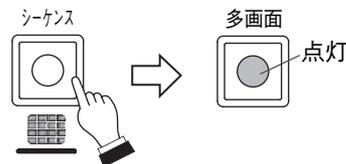
- 1** シフトキーを押す。
シフトキーが点灯します。



液晶画面

16フ ンカツ		
7	1	15

- 2** シーケンスキー（16分割キー）を押す。
多画面キーが点灯し、接続されているすべてのカメラ映像がモニターに表示されます。



モニター画面

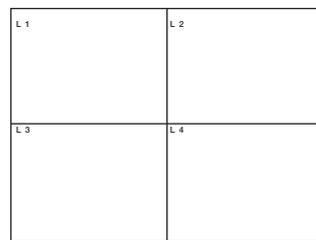
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16

カメラ番号

● 多画面の配置を変更する

ライブモードおよび再生モードの多画面の配置を自由に変更することができます。分割画面をそれぞれ設定できます。詳しくは、デジタルレコーダーの取扱説明書をお読みください。

1 ライブモードで配置を変更したい多画面を表示する。
( P. 16 「多画面表示で見る」)



2 多画面キーを2秒以上押す。
配置設定画面が表示されます。

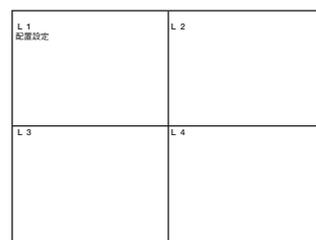
3 ジョイスティックを上下左右へ倒して、配置を変更する位置へカーソルを移動する。

多画面表示中



4 カメラの番号をテンキーで入力し、1画面キーを押す。

5 ジョイスティックの左回転またはCキーを押す。
配置設定画面を終了します。



ご注意

- テンキーで入力したカメラ番号のライブ映像が、配置設定画面にある場合は、選択中のカメラと入れ替わります。
- モニター2の映像は、配置を変更できません。

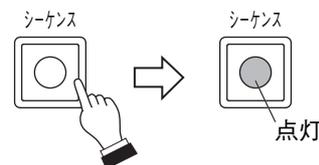
● シーケンス表示で見る

ご注意

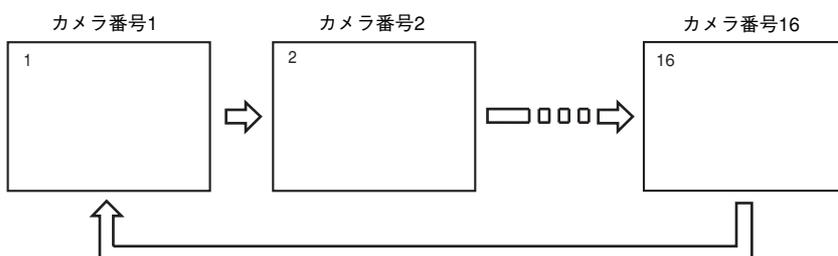
あらかじめデジタルレコーダーのシーケンスを設定する必要があります。詳しくは、デジタルレコーダーの取扱説明書をお読みください。

デジタルレコーダーを選択した状態で、シーケンスキーを押す。

シーケンスキーが点灯し、デジタルレコーダーで設定されたシーケンスを実行します。



(例) モニター画面



液晶画面

シーケンス		
7	1	15

● グループシーケンス表示で見る

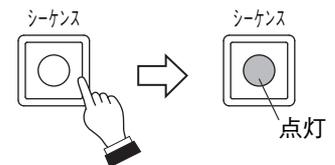
カスケード接続でグループを選択している場合は、グループシーケンスを実行します。グループシーケンスでは、モニター1のシーケンス設定を使用します。

ご注意

- あらかじめデジタルレコーダーのシーケンスを設定する必要があります。シーケンスの設定方法は、デジタルレコーダーの取扱説明書をお読みください。
- グループ内にフルロックのデジタルレコーダーがあり、そのデジタルレコーダーのセキュリティ設定がリモートアクセス制限「する」の場合、グループシーケンスはできません。
- グループシーケンス実行中は、デジタルレコーダーやリモートコントローラーの電源を切らないでください。電源が切れた場合は、システム機器すべての電源を再起動してください。

グループを選択した状態で、シーケンスキーを押す。

シーケンスキーが点灯し、グループシーケンスを実行します。



グループシーケンスの動作は以下の通りです。

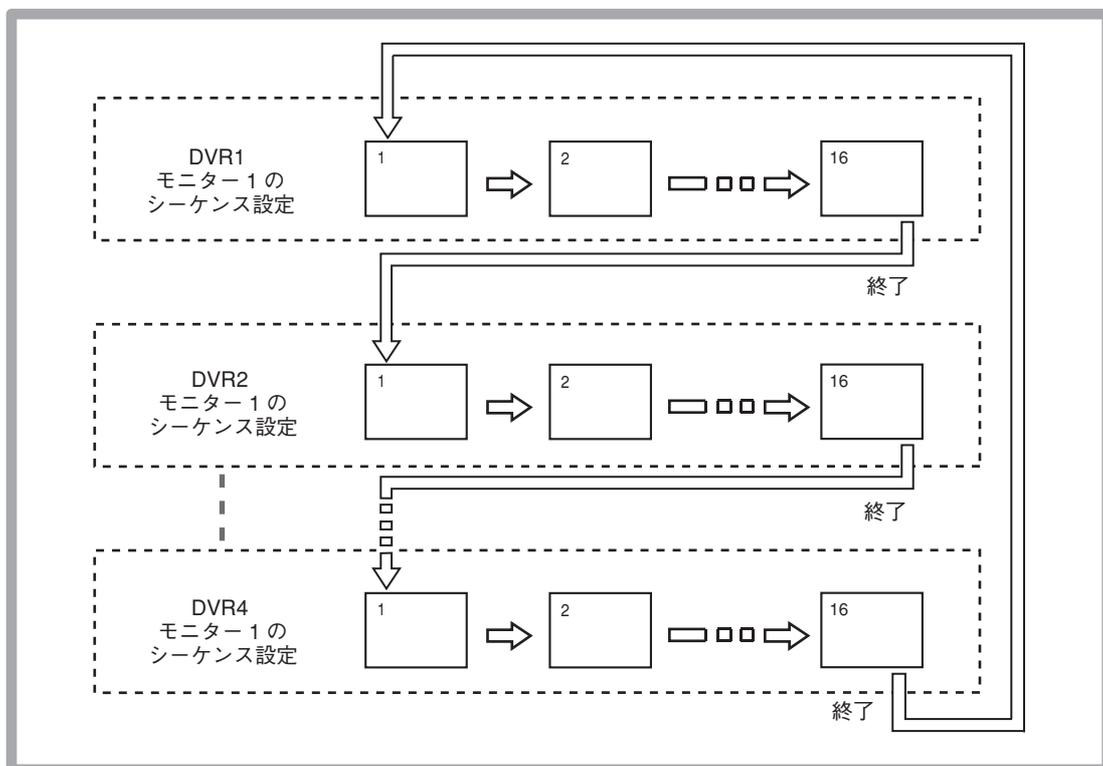
- ① DVR1のシーケンスを実行します。
- ② DVR1のシーケンスが終了すると、DVR2のシーケンスを実行します。
- ③ グループ最後のDVRがシーケンスを終了するとDVR1に戻り、シーケンスを繰り返します。

液晶画面

シーケンス		
G 1	1	15

(例) DVR1～4 をグループ1 に設定した場合

グループシーケンス (マスターモニター1の表示順序)



DVR：デジタルレコーダー

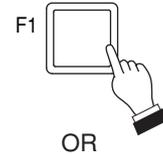
● ズーム表示で見る（電子ズーム）

ライブ画面や再生画面が1画面表示されている場合、2倍にズーム表示することができます。
多画面表示されている場合は、ズーム表示できません。

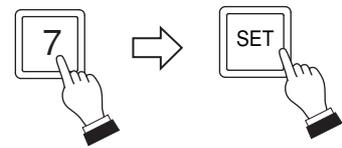
ご注意

あらかじめファンクションキーや短縮番号に "ズームオン" および "ズームオフ" を登録する必要があります。
(☞ P. 43 「短縮（機能登録）」)

- 1** あらかじめ "ズームオン" を登録したファンクションキーまたは短縮番号を押す。
画面中央に矢印が表示されます。



- 2** ジョイスティックを動かし、ズームしたい場所の中心に矢印を移動する。



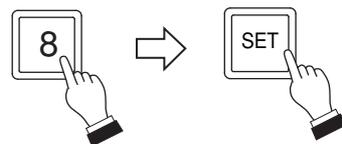
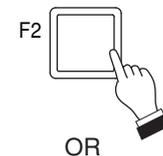
- 3** SET キーを押す。
矢印を中心に2倍ズーム表示されます。



メモ

ズーム表示後もジョイスティックを操作すると、ズームしている位置を動かすことができます。

- 4** あらかじめ "ズームオフ" を登録したファンクションキーまたは短縮番号を押す。
ズーム表示を解除します。



コンビネーションカメラを操作する

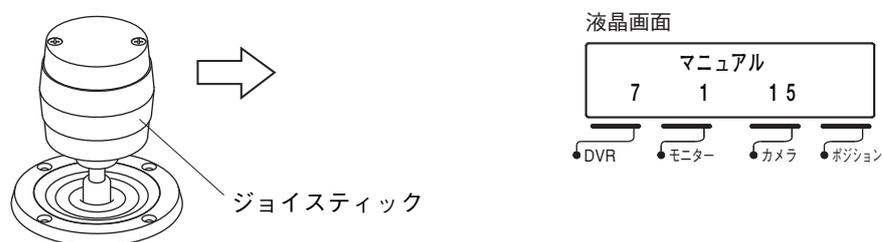
デジタルレコーダーがライブモード中で、コンビネーションカメラが選択されているときに、以下のカメラ操作ができます。

● ジョイスティックでカメラの旋回、ズーム機能を動作させる

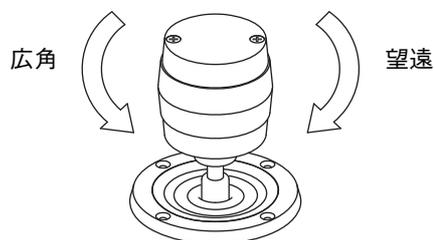
システムにコンビネーションカメラが接続されているとき、ジョイスティックで任意方向に旋回およびズームレンズを動作させることができます。

カメラを選択した状態で、カメラを旋回させたい方向にジョイスティックを倒す。
ジョイスティックを倒した方向へカメラが旋回します。

(例) カメラを右に旋回させたいとき



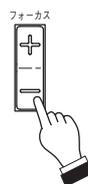
カメラを選択した状態で、ジョイスティックをまわす。
右回転で望遠、左回転で広角の動作をします。



● フォーカス機能を動作させる

コンビネーションカメラが接続されているとき、フォーカスキーで焦点を合わせることができます。

カメラを選択した状態でフォーカスキー (+)、(-) を押す。
キーを押している間、動作します。
(+)で遠、(-)で近方向の動作をします。



● アイリス機能を動作させる（通信方式：タイプBのみ）

コンビネーションカメラが接続されているとき、アイリスキーで絞りを調整することができます。

カメラを選択した状態でアイリス(+)、(-)キーを押す。
キーを押している間、動作します。
(+)で開、(-)で閉方向の動作をします。



● オート機能を動作させる

コンビネーションカメラが接続されているとき、オートキーでオート機能を動作させることができます。

ご注意

コンビネーションカメラの通信方式と設定内容により、オートキーで動作させる機能は異なります。
タイプB（TOA-B）の場合、カメラメニューで“オートキーキノウ”を設定しても無効になります。

オートパン : コンビネーションカメラの自動水平旋回機能
 オートトレース : コンビネーションカメラで設定されたカメラ動作を再生する機能
 プリセットシーケンス : コンビネーションカメラで設定されたプリセット番号順に自動再生する機能
 ツアー : プリセットポジションやトレース動作を組合わせて再生する機能
 (C-CC511、514、571、574、602、704、711、714、724、771、774のみ)

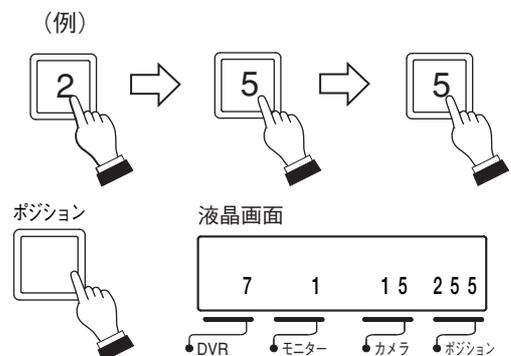
	オートキーを押す	オートキーを2秒以上押す	短縮番号 または ファンクションキーを押す
タイプA (TOA-A)	オートパン、オートトレース、 プリセットシーケンスを開始する (コンビネーションカメラのオート キー機能の設定内容による)	オート動作を終了する	オートパン、オートトレース、 プリセットシーケンスを開始する (リモートコントローラーの短縮 設定で任意の短縮番号に設定でき る)
タイプB (TOA-B)	オートパンを開始する		

オート動作が作動中は、オートキーが点灯します。
オート動作が終了すると、オートキーは消灯します。

● カメラのポジションを選択する

1 カメラを選択した状態で、テンキーでポジション番号を押す。

2 ポジションキーを押す。
選択したポジションの映像が表示されます。



メモ

通信方式がタイプBの場合は、ポジションキーのみ（または、0ポジション）を押すと、ホームポジションの映像を表示します。

● フォーカススピードを設定する

カメラのフォーカススピードを設定することができます。(参照 P. 48 「フォーカススピード」)

● 短縮機能を利用する

あらかじめ登録した短縮番号を、テンキーで入力した後にSETキーを押す、またはファンクションキーを押すだけで以下のカメラ操作を行うことができます。(参照 P. 34 「短縮番号機能を使用する」)(参照 P. 41 「短縮」)

- ・ 設定されたカメラ映像 (DVR 番号、カメラ番号、ポジション番号) をモニターに表示させる
- ・ デジタルレコーダーの番号をモニターに表示させる
- ・ オートフォーカス機能を動作させる
- ・ オート機能を動作させる
- ・ カメラの予備接点を制御する
- ・ 電子ズームを行う

● コンビネーションカメラのメニューを表示する

コンビネーションカメラのメニュー画面を表示し、プリセットポジション記憶など各種設定を行います。詳しくは、コンビネーションカメラの取扱説明書をお読みください。

ご注意

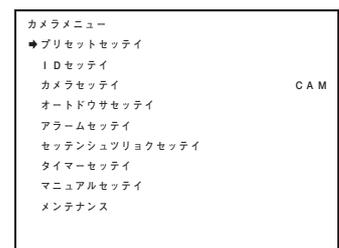
メニューを表示できるカメラは、C-CC501、C-CC504、C-CC511、C-CC514、C-CC551、C-CC554、C-CC571、C-CC574、C-CC602、C-CC704、C-CC711、C-CC714、C-CC724、C-CC771、C-CC774 です。

1 メニューを表示するカメラを選択する。
(参照 P. 13 「操作する機器を選択する」)

2 カメラメニューキーを2秒以上押して、メニュー画面を表示する。

カメラメニュー表示中の、リモートコントローラーの操作は以下の通りです。

- 設定内容の変更 : ジョイスティックを上下左右へ倒す。
設定項目の選択 : ジョイスティックを上下左右へ倒す。
設定項目の決定 : SET キーを押す。
前画面へ戻る : C キーを押す。
数字のクリア : C キーを押す。
ポジション番号入力 : テンキーで入力し、SET キーを押す。
ズーム設定 : ジョイスティック左回転または右回転で設定する。
フォーカス設定 : フォーカスキー (+)、(-) で設定する。



ご注意 カメラメニュー表示中は、ジョイスティックの左右回転でのキャンセルや決定の操作はできません。C キーまたはSET キーを使用してください。

メモ 通信方式がタイプBで、カメラメニューのカーソル移動が速すぎる場合は、シフトキーを押し、LEDが点灯した状態でジョイスティックを操作してください。カーソルが一つずつ移動します。プリセットの設定やトレース記憶等のカメラ操作を行うときは、もう一度シフトキーを押し、LEDを消灯させてから行ってください。

3 カメラメニューキーを2秒以上押してメニュー画面を終了する。

● プリセットポジションを記憶させる

プリセットポジションはカメラメニューより記憶させることができますが、以下の操作を行うとプリセットポジションを簡単に記憶させることができます。

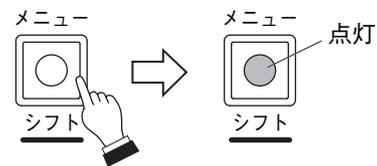
1 プリセットポジションを記憶させたいカメラを選択する。
(☞ P.13 「操作する機器を選択する」)

2 コンビネーションカメラを操作して、記憶させたい画角に調整する。

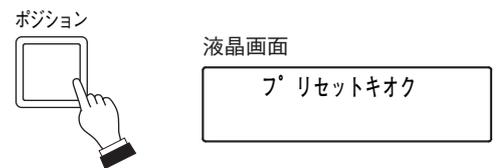
3 プリセットポジション番号をテンキーで入力する。



4 シフトキーを押す。
シフトキーが点灯します。



5 ポジションキーを2秒以上押す。
記憶すると、液晶画面に「プリセットキオク」と表示します。



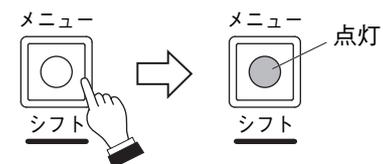
● プリセットポジションを消去する（通信方式：タイプBのみ）

以下の操作で登録されたプリセットポジションを消去することができます。

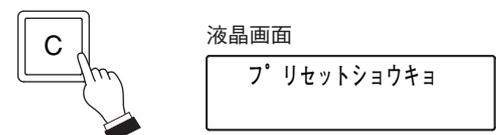
1 消去したいプリセットポジション番号をテンキーで入力する。



2 シフトキーを押す。
シフトキーが点灯します。



3 Cキーを2秒以上押す。
消去すると、液晶画面に「プリセットショウキョ」と表示します。



デジタルレコーダーを操作する

本機では以下のデジタルレコーダー操作ができます。

録画のしかた

デジタルレコーダーの録画モードには緊急録画、自動録画（アラームイベント録画、ノーマル録画）があります。詳しくは、デジタルレコーダーの取扱説明書をお読みください。

録画時のLED表示

 : 緑点灯
  : 赤点灯
  : 赤点滅
  : 消灯

DVR キー	緊急録画キー	アラーム解除キー ※2	状態
			ノーマル録画中
			緊急録画中
 ※1			<ul style="list-style-type: none"> 同じシステムに接続された他のリモートコントローラーから緊急録画を終了した場合 デジタルレコーダーから緊急録画を終了した場合 <ul style="list-style-type: none"> デジタルレコーダー前面の緊急録画キーからの終了 デジタルレコーダーで設定した緊急録画時間が経過して終了
			アラームイベント録画中 (液晶画面にアラームイベント録画中のデジタルレコーダー番号を表示)
 ※1			<ul style="list-style-type: none"> 同じシステムに接続された他のリモートコントローラーからアラームイベント録画を終了した場合 デジタルレコーダーからアラームイベント録画を終了した場合 <ul style="list-style-type: none"> デジタルレコーダー前面のアラーム解除キーからの終了 デジタルレコーダーで設定したアラーム録画時間が経過して終了

※1 自動録画中は赤色に点灯します。

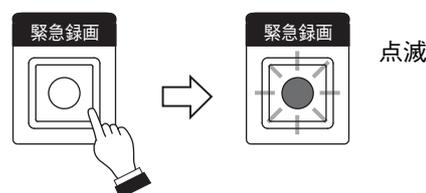
※2 アラーム解除キーはデジタルレコーダーの機器異常発生中も赤色に点滅します。(P.56「デジタルレコーダーの異常表示」)

緊急録画を動作させる

詳しくは、デジタルレコーダーの取扱説明書をお読みください。

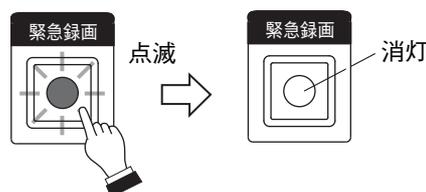
1 緊急録画キーを押す。

緊急録画キーが点滅しブザーが鳴り、緊急録画を開始します。



2 緊急録画キーを2秒以上押す。

緊急録画キーが消灯し、緊急録画を終了します。



メモ

- 緊急録画中にブザーを停止するときはアラーム解除キーを押してください。
- デジタルレコーダーより緊急録画が終了されたときは、緊急録画キーが点灯します。消灯させるためには、緊急録画キーを2秒以上押してください。

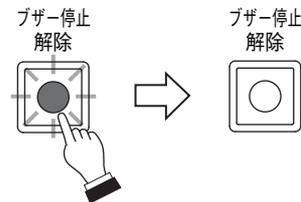
● アラームイベント録画を解除する

アラームイベント録画中はアラーム解除キーが点滅し、ブザーが鳴ります。本機からアラームイベント録画の開始はできません。アラームイベント録画の開始については、デジタルレコーダーの取扱説明書をお読みください。

また、アラーム発生時の本機の動作については、「アラーム発生時の操作と動作 (P. 34)」を参照してください。

ブザー停止／アラーム解除キーを2秒以上押す。

ブザー停止／アラーム解除キーが消灯し、ブザーが停止してアラームイベント録画を終了します。



メモ

- アラームイベント録画中のブザーを停止するときはブザー停止／アラーム解除キーを押してください。
- デジタルレコーダーにより、アラーム録画が終了されたときは、ブザー停止／アラーム解除キーが点灯します。消灯させるためには、ブザー停止／アラーム解除キーを2秒以上押してください。

● ノーマル録画を動作させる

デジタルレコーダーのメニュー設定によりノーマル録画のスケジュールを設定することができます。本機よりデジタルレコーダーのメニューを表示し設定してください。詳しくは、デジタルレコーダー取扱説明書をお読みください。

■ 再生のしかた

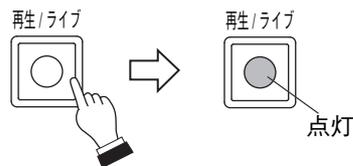
● 再生モードにする

再生／ライブキーを押す。

ライブモードから再生モードに切り換わり、再生を始めます。

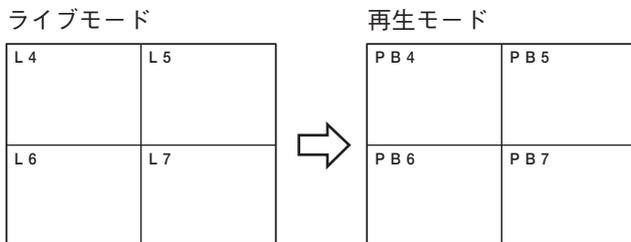
再生モード中は再生／ライブキーが点灯します。

再度、再生／ライブキーを押すと再生を停止し、ライブモードに切り換わります。



メモ

- 再生モード中に、ジョイスティックを右に倒すことでも、再生を始めることができます。
- 前回停止した位置より再生を開始します。



※ Lはライブ画面、PBは再生画面を示します。

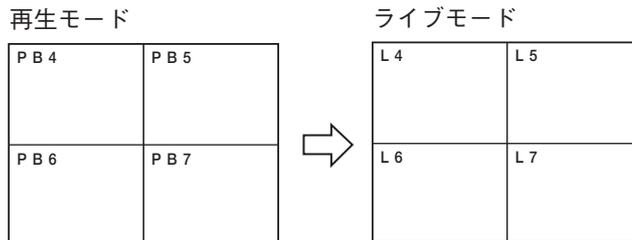
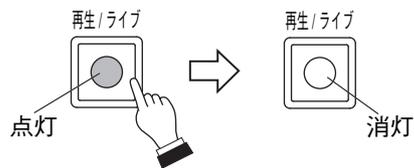
● 逆再生する

再生モード中に、ジョイスティックを左に倒す。

逆再生を始めます。

● 停止する

再生モード中に再生／ライブキーを押す。
再生を停止し、ライブモードに切り換わります。
ライブモード中は再生／ライブキーが消灯します。

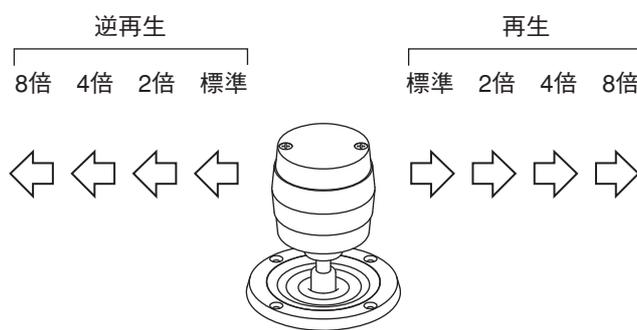


● 早送り／早戻し再生する

再生中に、ジョイスティックを左右に倒したままにする。

右に倒すと早送り再生、左に倒すと早戻し再生を行います。

ジョイスティックを倒す角度により再生速度が2倍、4倍、8倍と変化します。ジョイスティックを中央に戻すと、通常ので再生します。



メモ

2倍（4倍、8倍）再生中にSETキーを押すと、再生速度を固定することができます。解除するにはジョイスティックを左または右に動かしてください。

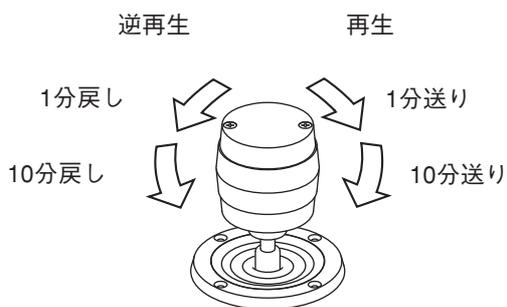
● 1分（10分）送り／1分（10分）戻し再生をする

ジョイスティックを右に回す。
1分／10分飛ばしで再生します。

ジョイスティックを左に回す。
1分／10分飛ばしで逆再生します。

メモ

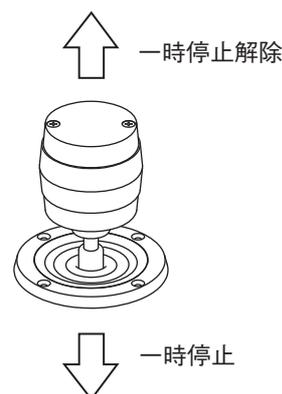
1分（10分）送り／戻し再生中にSETキーを押すと、ジョイスティックを元に戻しても、1分（10分）送り／戻し再生を続けます。解除するにはジョイスティックを左または右に動かしてください。



● 一時停止する

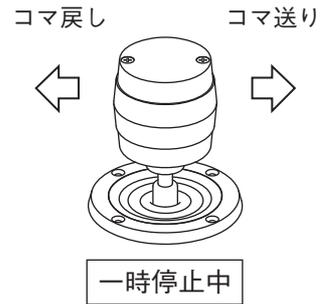
再生中に、ジョイスティックを下に倒す。
一時停止します。

一時停止中に、ジョイスティックを上を倒す。
一時停止が解除され、再生（逆再生）を始めます。



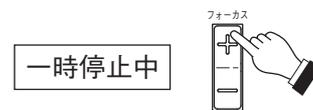
● コマ送り／コマ戻し再生する

一時停止中にジョイスティックを左右に倒す。
右に倒すとコマ送り再生、左に倒すとコマ戻し再生を行います。

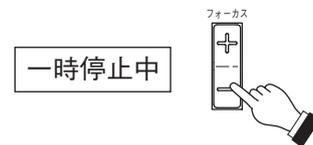


● イベント飛ばしをする

一時停止中にフォーカス(+)キーを押す。
次のイベントの先頭で一時停止します。



一時停止中にフォーカス(-)キーを押す。
前のイベントの先頭で一時停止します。



● 最も古い映像を再生する（最古再生）

アイリス(+)キーを押す。
最も古い映像を再生します。



● 最も新しい映像を逆再生する（最新逆再生）

アイリス(-)キーを押す。
最も新しい映像を逆再生します。



■ 検索のしかた

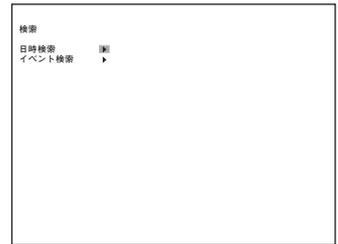
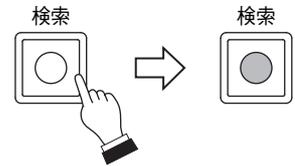
デジタルレコーダーに録画された映像を日時やイベントで検索できます。詳しくは、デジタルレコーダーの取扱説明書をお読みください。

- 1 検索キーを押す。
検索メニューが表示されます。

検索メニュー表示中のリモートコントローラーの操作は以下の通りです。

- カーソル移動 : ジョイスティックを上下左右へ倒す。
- 決定 : ジョイスティックを右回転またはSETキーを押す。
- キャンセル : ジョイスティックを左回転またはCキーを押す。
- 設定値変更 : フォーカスキー(+)、(-)で変更する。

メ モ 検索を実行すると再生モードとなり、検索した位置で一時停止します。

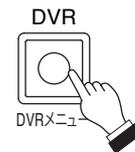


- 2 ジョイスティックを左に倒す。
検索メニューを終了します。ジョイスティックの左回転またはCキーでも検索メニューを終了します。

■ デジタルレコーダーのメニューを表示する

デジタルレコーダーのメニューを表示し、各種設定を行います。

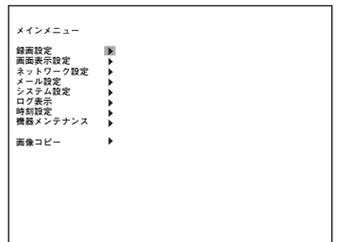
- 1 メニューを表示するデジタルレコーダーを選択する。
(P.13 「操作する機器を選択する」)



- 2 DVRメニューキーを2秒以上押して、デジタルレコーダーのメニューを表示する。
モニターにメニューが表示されます。

メニュー表示中のリモートコントローラーの操作は以下の通りです。

- カーソル移動 : ジョイスティックを上下左右へ倒す。
- 決定 : ジョイスティックを右回転またはSETキーを押す。
- キャンセル : ジョイスティックを左回転またはCキーを押す。
- 設定値変更 : フォーカスキー(+)、(-)で変更する。



- 3 ジョイスティックを左に倒す。
メニューを終了します。また、ジョイスティックの左回転、Cキーでもメニューを終了できます。
変更がある場合は、保存して終了します。

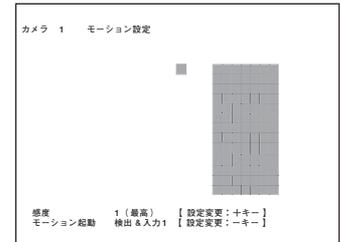
● モーションを設定する

デジタルレコーダーメニューよりモーションの設定をすることができます。詳しくは、デジタルレコーダーの取扱説明書をお読みください。

1 デジタルレコーダーのメニューよりモーション設定画面を表示する。

メニュー表示中のリモートコントローラーの操作は以下の通りです。

- カーソル移動 : ジョイスティックを上下左右へ倒す。
- 1マスをを選択する (解除する) : ジョイスティックの右回転またはSETキーを押す。(ON: 緑、OFF: 無)
- 広範囲を対角で選択する (解除する) : 始点の位置でジョイスティックを右回転またはSETキーを押す。終点の位置にカーソルを移動し、検索キーを押す、またはシフトキーを点灯させジョイスティックを右回転する。(ON: 緑、OFF: 無)
- 感度の変更 : フォーカスキー(+)を押す。
- モーション起動の変更 : フォーカスキー(-)を押す。



2 ジョイスティックを左回転またはCキーを押す。 設定保存確認のメッセージが表示され前画面に戻ります。

■ コピーのしかた

デジタルレコーダーに録画された映像をDVD-RやUSBメモリーにコピーすることができます。詳しくは、デジタルレコーダーの取扱説明書をお読みください。

1 再生モードの一時停止中にメニューキーを2秒以上押す。 コピーメニューが表示されます。

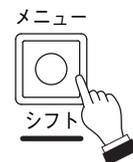
コピーメニュー表示中のリモートコントローラーの操作は以下の通りです。

- カーソル移動 : ジョイスティックを上下左右へ倒す。
- 開始(終了)位置決定 : ジョイスティックの右回転またはSETキーを押す。
- 設定値変更 : フォーカスキー(+)、(-)で変更する。
- 転送の実行 : ジョイスティックの右回転またはSETキーを押す。

メ モ

開始(終了)位置の時間は、一時停止中の時間が入力されます。時間を変更するときは、フォーカスキーを使用する、もしくは、再生モードに戻り、入力したい時間で一時停止し、再度コピーメニューを表示してください。

一時停止中



画像コピー	
開始1	2005 / 2/27 12:01:00
終了1	2005 / 2/27 12:02:00
開始2	2005 / 2/27 12:03:00
終了2	2005 / 2/27 12:04:00
開始3	2005 / 2/27 12:05:00
終了3	2005 / 2/27 12:06:00
開始4	2005 / 2/27 12:07:00
終了4	2005 / 2/27 12:08:00
開始5	2005 / 2/27 12:09:00
終了5	2005 / 2/27 12:10:00
カメラ	カメラ3
転送	実行
最古	2005 / 2/20 17:30:00
最新	2005 / 2/28 17:30:00

2 ジョイスティックを左へ倒す。

コピーメニューを終了し、再生モードに戻ります。
また、ジョイスティックの左回転、Cキーでもコピーメニューを終了できます。

ご注意 コピー中は記録映像を再生することはできません。

メ モ コピーを中止する場合は、シフトキーを押し、LED点灯後にブザー停止／解除キーを押してください。

■ トリプレックス設定のしかた

再生モードの多画面表示中に、任意の画面にどのライブ映像でも配置することができます。詳しくは、デジタルレコーダーの取扱説明書をお読みください。

1 再生モードの多画面中に多画面キーを2秒以上押す。
トリプレックス設定画面を表示します。

トリプレックス設定画面表示中のリモートコントローラーの操作は以下の通りです。

カーソル移動 : ジョイスティックを上下左右へ倒す。

ライブ映像への切り換え

: ライブにしたいカメラ番号をテンキーで入力し、1画面キーを押す。

再生映像に戻す : ライブ映像を選択し、シーケンスキーを押す。

多画面表示中



2 ジョイスティックの左回転またはCキーを押す。
トリプレックス設定画面を終了します。

メ モ

トリプレックスモードから再生モードに戻すときには、トリプレックス設定画面にて、すべてのライブ映像を再生映像に戻してください。

■ デジタルレコーダーのパスワードを入力する

デジタルレコーダーのセキュリティ設定でリモートアクセス制限が「する」に設定されており、パスワードが有効なときは、デジタルレコーダーの現在の操作レベルの操作のみ可能です。デジタルレコーダーの操作レベルを変更するときは、以下の操作をしてください。

リモートコントローラーのログイン、ログアウトは「ログインとログアウト (P.33)」を参照してください。

メモ

リモートアクセス制限が「しない」に設定されている場合は、リモートコントローラーからデジタルレコーダーを操作できます。

● ログインする

1 DVRメニューキーを2秒以上押す。

モニターに「ログアウト」「ログイン」の選択画面が表示されます。



メモ

フルロックの場合は、DVRメニューキーを2秒以上押すと、直接パスワード入力画面になります。



2 ジョイスティックで「ログイン」を選択し、SETキーを押す。 パスワード入力画面になります。

3 ジョイスティックで「_ _ _ _ _」を選択し、パスワードを入力し、SETキーを押す。 パスワードは1桁ずつ、1画面キーで確定しながら入力します。入力した数字は「*」で表示されます。



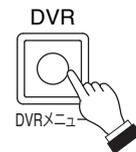
(例) パスワードが「123456」の場合



● ログアウトする

1 DVRメニューキーを2秒以上押す。

モニターに「ログアウト」「ログイン」の選択画面が表示されます。



メモ

操作レベル1の状態、DVRメニューキーを2秒以上押すと「ログアウト」と「メニュー」の選択画面になります。

2 ジョイスティックで「ログアウト」を選択し、SETキーを押す。 設定された操作レベルの最も低い状態にログアウトします。



その他の操作

■ ログインとログアウト

本機にパスワードが設定されている場合、各操作レベルに「ログイン」および「ログアウト」することができます。パスワードの設定方法は「パスワード (P. 46)」を参照してください。

デジタルレコーダーのログイン、ログアウトは「デジタルレコーダーのパスワードを入力する (P. 32)」を参照してください。

● ログインする

- 1 メニューキーを2秒以上押す。
液晶画面に「パスワード」と表示されます。

メ モ

設定された操作レベルの最も低い状態で、MENU キーを2秒以上押すと、直接パスワード入力画面になります。

- 2 ジョイスティックで「ログイン」を選択し、SET キーを押す。
パスワード入力画面になります。

- 3 パスワード1～3のいずれかを入力し、SET キーを押す。
入力したパスワードに対する、操作レベルにログインします。(P. 46 「パスワード」)



パスワード
ログイン

パスワード
|

パスワード

● ログアウトする

- 1 メニューキーを2秒以上押す。
液晶画面に「パスワード」と表示されます。

メ モ

操作レベル1の状態では、メニューキーを2秒以上押すと「ログアウト」と「リモコンメニュー」の選択画面になります。

- 2 ジョイスティックで「ログアウト」を選択し、SET キーを押す。
設定された操作レベルの最も低い状態にログアウトします。
(P. 46 「パスワード」)



パスワード
ログアウト

■ 短縮番号機能を使用する

あらかじめ設定しておいた短縮番号を実行します。

短縮番号には、カメラの映像（DVR 番号、モニター番号、カメラ番号、ポジション番号）を登録することやコンビネーションカメラ・デジタルレコーダーの機能を登録することができます。（☞ P. 43 「短縮（機能登録）」）

1 短縮番号をテンキーで入力する。



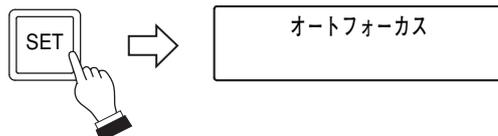
2 SET キーを押す。

登録された動作を実行します。

メ モ

短縮機能は工場出荷時にあらかじめ登録されています。

（☞ P. 44 「工場出荷時の短縮番号設定」）



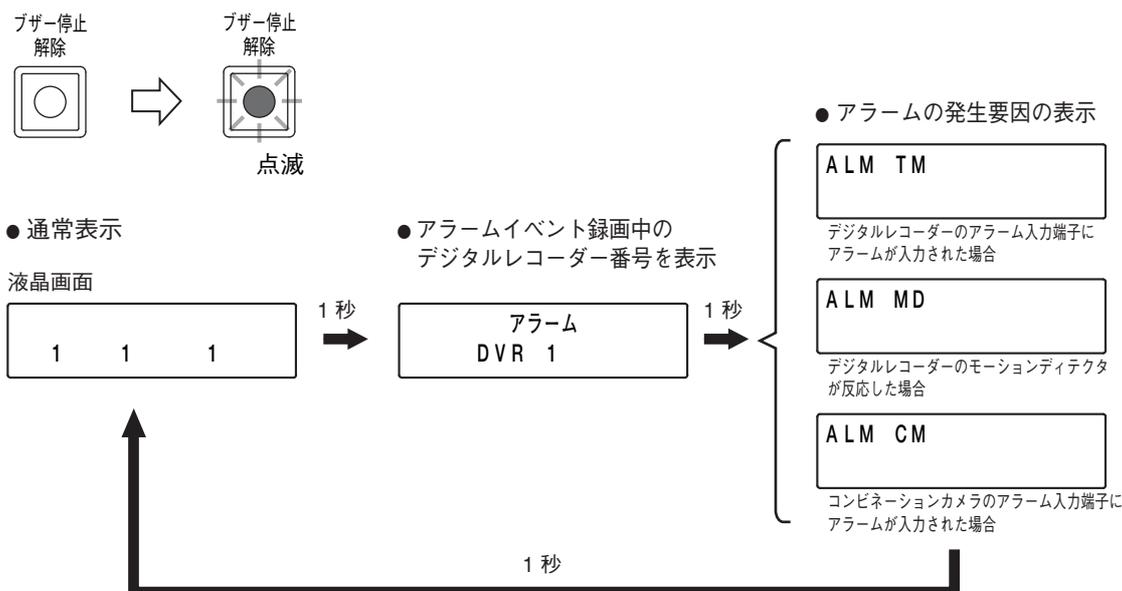
■ アラーム発生時の動作と操作

● アラームが入力されたとき

ブザー停止／アラーム解除キーが赤色に点滅しブザーが鳴り、液晶画面にアラームが入力されたデジタルレコーダーの番号を表示します。このとき、デジタルレコーダーはアラームイベント録画を開始し、アラームが入力されたカメラ番号の映像をモニター出力1へ1画面表示します。

ご注意

リモートコントローラーの液晶画面には、モニターに1画面表示されたカメラの番号を表示していません。1画面表示されているカメラを操作するときは、カメラの選択番号を変更してください。



ご注意

- モニター出力2の映像は、アラームが入力されても画面表示は切り換えません。
- カスケード接続の場合は、マスターモニターにアラーム発生中のデジタルレコーダーを表示しますが、リモートコントローラーがグループを選択しているときは、アラーム発生中のデジタルレコーダーを自動で表示しません。

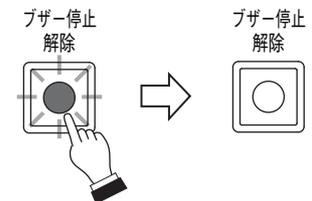
● ブザーを停止する

ブザー停止／アラーム解除キーを押す。
ブザーが停止します。



● アラームを解除する

アラーム発生中にブザー停止／アラーム解除キーを2秒以上押す。
ブザー停止／アラーム解除キーが消灯し、アラーム状態を解除します。



● アラーム発生時の画面切換えを保留する

アラームが発生するとモニター出力1の表示をアラームが入力されたカメラの1画面表示に自動で切り換えます。保留キーを押すと、自動切換えを行わず、表示中の画面を保留することができます。

ご注意

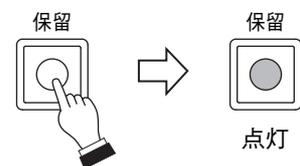
- デジタルレコーダーに設定されたカメラプリセットポジションへの移動も保留されます。ただし、コンビネーションカメラに設定されたアラームアクションは保留されません。
- カスケード接続時は、マスターモニターの表示を保留することはできません。

1

保留キーを押す。
保留キーが点灯し、表示画面の自動切換えを保留します。

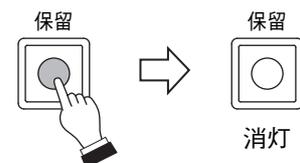
メ モ

保留キー点灯中は、アラーム入力、アラーム解除、デジタルレコーダーの設定時間の経過による画面切換えを行いません。



2

保留キーを2秒以上押す。
保留キーが消灯し、アラーム入力時には、自動で画面が切り換わります。



■ ジョイスティック位置を調整する

ジョイスティックの中心位置を調整します。

1

リモコンの電源を切る。

2

1画面キーとオートキーを押したまま電源を入れる。
現在のジョイスティックの位置を中心と判断します。

ご注意

ジョイスティックを傾けた状態で、電源を入れないでください。

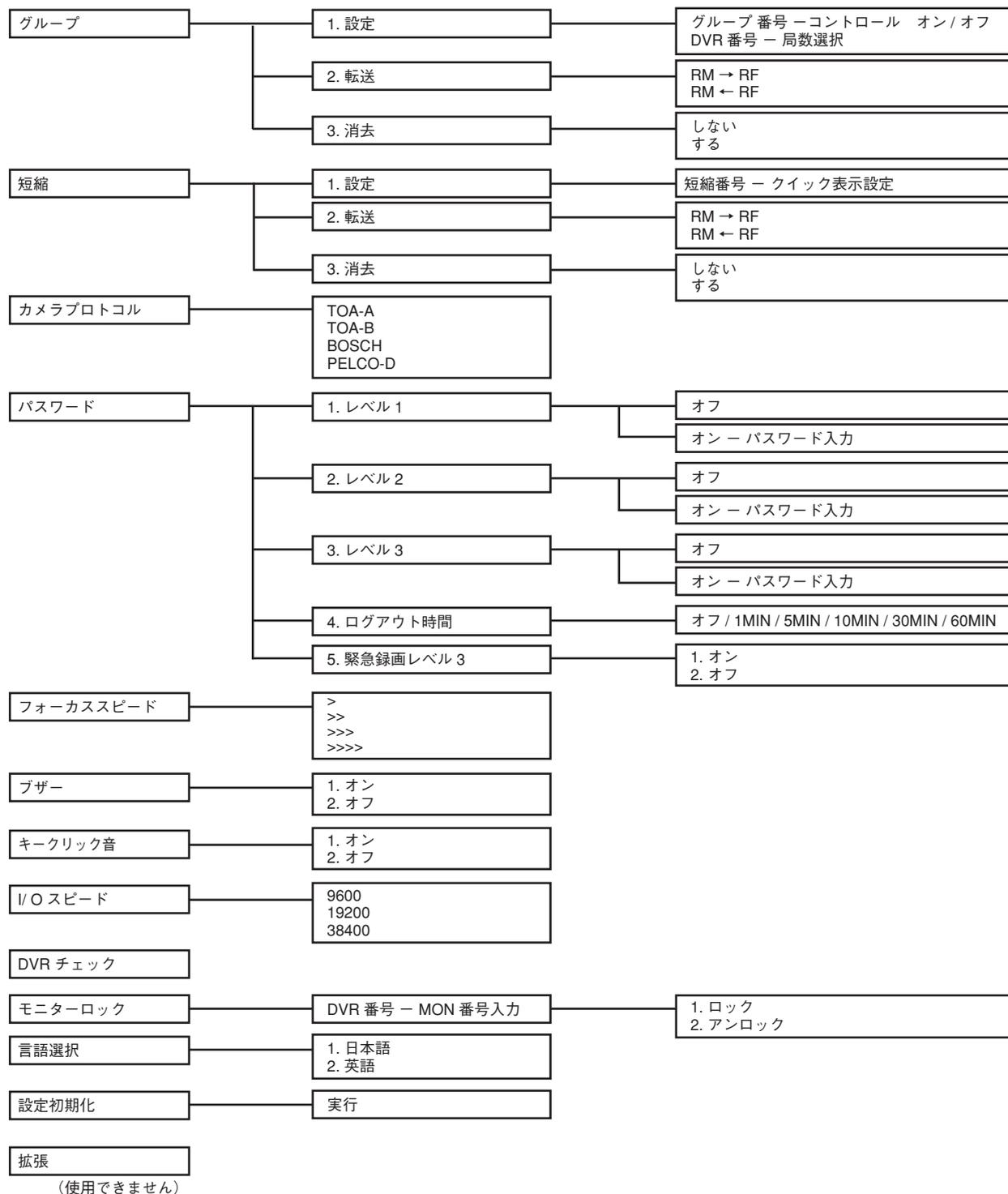
設定のしかた

■ 設定項目の一覧と概要

リモートコントローラーメニューの表示（メニューキーを2秒以上押す）

設定項目		説明
グループ	1. 設定	カスケード接続時に複数のデジタルレコーダーをグループとして登録することができます。また、各グループに対するリモートコントローラーの操作権限を設定できます。
	2. 転送	既に登録されたグループ設定がある場合、複数台のリモートコントローラーに設定をコピーするために、インターフェースユニット C-RF1000 を経由してデータ転送を行います。
	3. 消去	グループ設定を一括消去します。
短縮	1. 設定	F1～F4 キーおよび短縮番号 1～508 番に短縮動作や機能を登録することができます。
	2. 転送	既に登録された短縮設定がある場合、複数台のリモートコントローラーに設定をコピーするために、インターフェースユニット C-RF1000 を経由してデータ転送を行います。
	3. 消去	短縮設定を一括消去します。
カメラプロトコル		カメラプロトコルを選択することで、F1～F4 キーおよび短縮番号設定をカメラプロトコル別のデータに変更します。
パスワード	1. 操作レベル 1	フルアクセスできます。メニューの表示および設定、USB・DVD へのアーカイブが可能です。
	2. 操作レベル 2	ライブモードの操作、再生モードの操作、カメラ操作、アラーム解除ができます。メニューの表示および設定変更、USB・DVD へのアーカイブはできません。
	3. 操作レベル 3	ライブモードの操作のみ可能です。
	4. ログアウト時間	ログアウトするまでの時間を設定できます。何も操作せずに時間が経過すると、自動的にログアウトし、設定されたアクセスレベルの低い状態に移行します。
	5. 緊急録画操作者レベル 3	緊急録画キーの操作を有効・無効で選択できます。
フォーカススピード		フォーカスキーを使用するときのレンズスピードを4段階で調節できます。
ブザー		ブザー音のオン・オフを設定できます。
キークリック音		キー操作時のクリック音のオン・オフを設定できます。
I/O スピード		制御出力端子からの転送レートを設定します。
DVR チェック		リモートコントローラーに接続されているデジタルレコーダーの有無を判別します。
モニターロック		リモートコントローラーごとにデジタルレコーダーのモニターをそれぞれ操作可・不可を設定できます。
言語選択	1. 日本語 2. 英語	液晶画面に表示する言語を設定します。
設定初期化		工場出荷状態に戻します。
拡張		使用できません。

● リモコンメニュー表



■ 設定の基本操作

各設定項目についての基本的な操作手順を示します。

リモートコントローラーのメニューはパスワードを入力し、操作レベル1にログインしなければ表示されません。ログインする方法は「ログインとログアウト (P. 33)」を参照してください。

● メニューを表示する

ご注意

デジタルレコーダーが各メニュー表示中（検索メニュー、トリプレックスメニュー、コピーメニュー）または、コンビネーションカメラのカメラメニュー表示中にリモートコントローラーのMENUキーを押しても、リモートコントローラーのメニューは起動できません。

- 1 メニューキーを2秒以上押す。
パスワードが設定されていない場合は、そのままリモートコントローラーのメニュー画面が表示されます。



パ スワ ー ド
ロ グ ア ウ ト

- 2 ジョイスティックを左右に倒して「リモコン メニュー」を選択する。

パ スワ ー ド
リ モ コ ン メ ニ ュ ー

- 3 ジョイスティック右回転またはSETキーで確定する。
メニュー画面が表示されます。



グ ル ー プ

● メニュー表示中の操作

- 1 ジョイスティックを上下に倒して設定項目を選択する。

(例)

フ ザ ー
1 . オ ン

- 2 ジョイスティック右回転またはSETキーで設定項目を確定する。
キャンセルはジョイスティック左回転またはCキーで行う。



フ ザ ー
1 . オ ン

- 3 ジョイスティックを左右に倒して設定内容を選択する。

フ ザ ー
2 . オ フ

- 4 SETキーを押して、設定内容を確定する。

- 5 引き続き、別の項目を設定するときは、手順2～5を繰り返す。
設定を終了して通常画面に戻るときは、再度メニューキーを2秒以上押す。



フ ザ ー
2 . オ フ

メモ

数字を入力するときは、テンキーでの入力とジョイスティックでの選択ができます。パスワード設定画面ではジョイスティックでの選択はできません。

● メニューを終了する

メニュー表示中にメニューキーを2秒以上押す。
メニュー表示前の画面に戻ります。

■ 機能を設定する

以下の各設定のメニュー表示と操作方法は、P. 39「設定の基本操作」と同様に行ってください。

● グループ設定

複数台のデジタルレコーダーをグループ化します。

同じグループ内の映像を1台のモニターで見ることができ、最大8グループの設定ができます。

【注意】

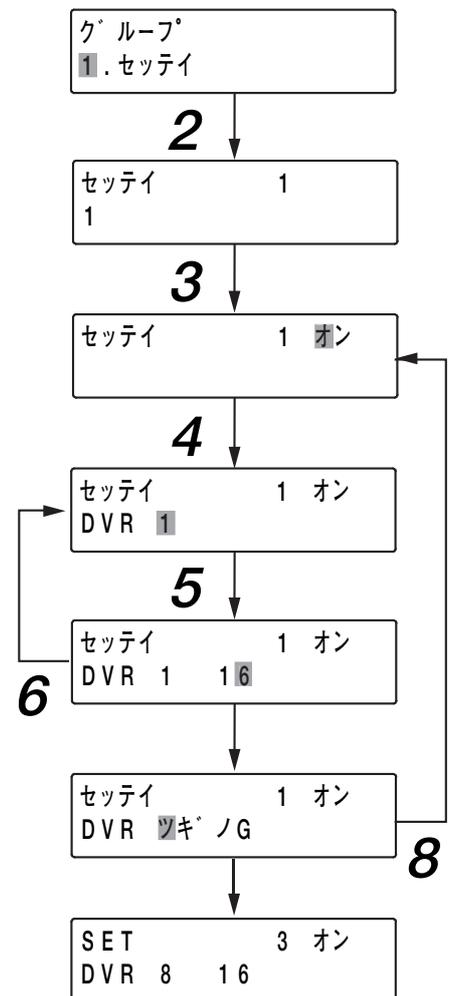
- グループ設定は、デジタルレコーダーのDVR-ID番号順となります。連続していない番号の組み合わせでは、グループ化できません。
- リモートコントローラーが複数台接続されているときは、各リモートコントローラーのグループ設定を合わせてください。グループ設定が一致していないとモニターに正しく表示できません。

【設定内容】

1. 設定	デジタルレコーダーのグループとコントロールの設定をします。
2. 転送	インターフェースユニットC-RF1000を経由して、グループ設定を他のリモートコントローラーに転送することができます。
3. 消去	グループの設定をすべて消去します。

【設定を選択する場合】

- 1 メニュー表示中に「グループ」を選択し、SETキーを押す。
2行目に設定内容が表示されます。
- 2 「1. セッテイ」を選択し、SETキーを押す。
グループ番号が点滅し、現在のグループ設定内容を確認することができます。
- 3 SETキーを押し、グループ1から順に設定します。
- 4 コントロールの「オン」「オフ」を選択し、SETキーを押す。
「オン」：設定中のグループを操作することができます。
「オフ」：設定中のグループを操作することができません。
- 5 DVR番号を選択し、SETキーを押す。
- 6 DVRの局数を選択し、SETキーを押す。
設定中のデジタルレコーダーの局数を9/16から選択します。
- 7 続けて同じグループに次のDVRを登録するときは、DVR番号を選択しSETキーを押す。
手順5、6を繰り返し設定してください。
- 8 次のグループを設定するときは「ツギノG」を選択し、SETキーを押す。
次のグループ番号が表示され、コントロールのオン/オフを選択する画面となります。手順4～6を繰り返してください。
- 9 DVR1～8のすべてが、いずれかのグループに割り当てられるように設定し、SETキーを押す。



[転送を選択する場合]

- 1** メニュー表示中に「グループ」を選択し、SET キーを押す。
2 行目に設定内容が表示されます。

クグループ
2. テンソウ

- 2** 「2. 転送」を選択し、SET キーを押す。

テンソウ
1. RM→RF

- 3** 「RM → RF」「RM ← RF」から選択し、SET キーを押す。
転送中は液晶画面に「テンソウチュウ...」を、転送が終了したときには「テンソウ カンリョウ」を表示します。
「RM → RF」：インターフェースユニットにデータを送ります。
「RM ← RF」：インターフェースユニットからデータを受け取ります。

[消去を選択した場合]

- 1** メニュー表示中に「グループ」を選択し、SET キーを押す。
2 行目に設定内容が表示されます。

- 2** 「ショウキョ」を選択し、SET キーを押す。

クグループ
3. ショウキョ

- 3** 「シナイ」「スル」から選択し、SET キーを押す。
「シナイ」：設定を消去しません。
「スル」：設定を消去します。工場出荷時の設定に戻ります。

※ 工場出荷時の設定は、グループ：1、DVR：1～8、コントロール：ON、局数：16 です。

● 短縮

[設定内容]

1. 設定	リモートコントローラーに短縮設定を登録します。クイック表示機能と機能登録の2種類があります。
2. 転送	インターフェースユニットC-RF1000を経由して、短縮設定を他のリモートコントローラーに転送することができます。転送方法はグループ設定の転送方法と同じです。
3. 消去	短縮設定をすべて消去します。機能登録の設定は、工場出荷時の設定に戻ります。

メモ

1台のリモートコントローラーの短縮設定を複数のリモートコントローラーに簡単に転送することができます。設定は以下の手順で行ってください。

1. リモートコントローラーのモニターをロックする。(P. 50 「モニターロック」)
リモートコントローラーから操作できるモニターを限定する場合は、各リモートコントローラーのモニターロックを設定してください。短縮（クイック表示機能）で設定したモニターをロックしている場合は、ロックしていないモニターへクイック表示されるので、短縮（クイック表示機能）設定のモニター番号を変更する必要はありません。
2. 1台のリモートコントローラーに短縮設定を登録する。
(P. 42 「短縮（クイック表示機能）」) (P. 43 「短縮（機能登録）」)
3. 各リモートコントローラーに短縮設定を転送する。(P. 41 「転送を選択する場合」)

● 短縮（クイック表示機能）

あらかじめ登録しておいた短縮番号（テンキー入力とSETキー）を押すだけで、カメラの映像（DVR番号、モニター番号、カメラ番号、ポジション番号）をモニターに1画面表示させることができます。登録できる短縮番号は1～508番とF1～F4キーの合計512種類です。

1 メニュー表示中に「タンシユク」を選択し、SETキーを押す。

2 「1. セッテイ」を選択し、SETキーを押す。

3 短縮番号を入力し、SETキーを押す。
番号は、1～508の範囲で入力できます。
また、F1～F4キーはジョイスティックで選択できます。
SETキーを押すと、カーソルの点滅が2行目に移ります。

4 クイック表示設定画面を表示し、SETキーを押す。

5 DVR番号を入力し、SETキーを押して確定する。
番号は、1～8の範囲で入力してください。
カーソルの点滅がモニター番号に移ります。

6 モニター番号を入力し、SETキーを押して確定する。
カーソルの点滅がカメラ番号に移ります。

メ モ

入力したモニター番号がモニターロックされている場合は、ロックされていないモニターへクイック表示されます。

7 カメラ番号を入力し、SETキーを押して確定する。
番号は1～16の範囲で入力してください。
カーソルの点滅がポジション番号に移ります。

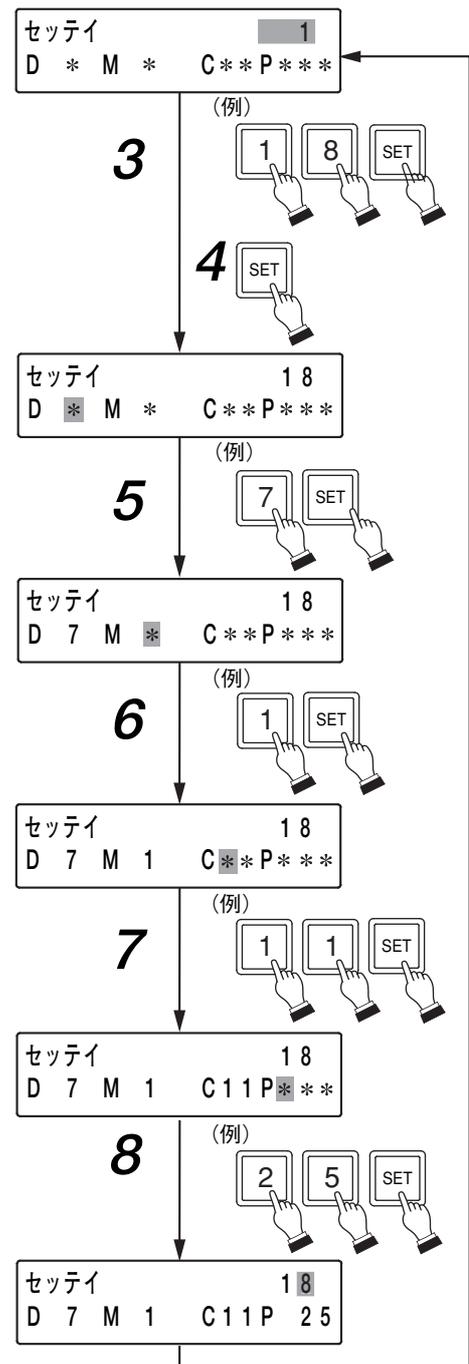
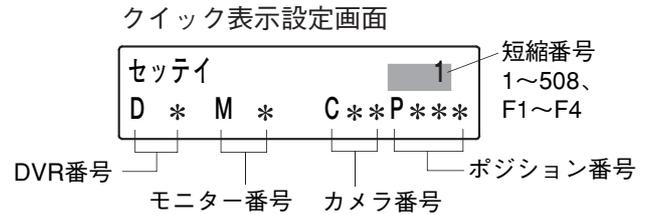
8 ポジション番号を入力し、SETキーを押して確定する。
番号は0～255の範囲で入力してください。

メ モ

- ポジション設定のないカメラについても、ポジション番号は入力してください。
- コンビネーションカメラの場合、ポジション番号「0」は、ホームポジションに設定されます。

9 引き続き、短縮番号を設定するときは手順3～8を繰り返す。
設定項目の表示に戻るときは、Cキーを押す。

メ モ 表示中の短縮設定を消去するには、手順4の後にCキーを2秒以上押してください。



● 短縮（機能登録）

短縮番号（1～508番、F1～F4キー）にコンビネーションカメラやデジタルレコーダーの機能を登録することができます。

ご注意

短縮設定を行う前に、コンビネーションカメラのプロトコルを選択する必要があります。プロトコルを選択すると、そのカメラで設定できる機能が選択できるようになります。

1 メニュー表示中に「タンシユク」を選択し、SETキーを押す。

2 「1.セッテイ」を選択し、SETキーを押す。

3 短縮番号を入力し、SETキーを押す。
番号は、1～508の範囲で入力できます。また、F1～F4キーはジョイスティックで選択できます。
SETキーを押すと、カーソルの点滅が2行目に移ります。

4 ジョイスティックを左右に倒して登録したい機能を選択し、SETキーを押す。
設定できる機能は以下の表となります。

5 引き続き、短縮番号を設定するときは手順3～4を繰り返す。
設定項目の表示に戻るときは、Cキーを押す。

機能登録画面



[カメラプロトコルが TOA-A（タイプA）の場合]

機能名称	説明	機能名称	説明
D*M*C**P***	クイック表示設定画面	ヨビセッテン1 オフ	接点1 オフ
DVRメイ ヒョウジ	DVR名表示	ヨビセッテン2 オン	接点2 オン
DVRメイ ショウキョ	DVR名非表示	ヨビセッテン2 オフ	接点2 オフ
ズーム オン	ズームオン	オートパン	オートパン開始
ズーム オフ	ズームオフ	プリセットシーケンス	プリセットシーケンス開始
オートフォーカス	オートフォーカス	トレース	トレース開始
ヨビセッテン1 オン	接点1 オン	ファンクションA～Z	使用できません

[カメラプロトコルが TOA-B (タイプ B) の場合]

機能名称	説明	機能名称	説明
D*M*C**P***	クイック表示設定画面	オートパン ピボット	オートパン (ピボット) 開始
DVR メイ ヒョウジ	DVR 名表示	タンテンセッテイ ヒダリ	オートパン端点設定 LEFT
DVR メイ ショウキョ	DVR 名非表示	タンテンセッテイ ミギ	オートパン端点設定 RIGHT
ズーム オン	ズームオン	プリセットシーケンス NUM	プリセットシーケンス (番号順) 開始
ズーム オフ	ズームオフ	プリセットシーケンスランダム	プリセットシーケンス (ランダム) 開始
オートフォーカス	オートフォーカス	プリセットシーケンス テスト	プリセットシーケンス (テスト) 開始
ヨビセッテン1 オン	接点1 オン	トレース 1	トレース1 開始
ヨビセッテン1 オフ	接点1 オフ	トレース 2	トレース2 開始
ヨビセッテン2 オン	接点2 オン	トレース1 キョクカishi	トレース1 記憶開始
ヨビセッテン2 オフ	接点2 オフ	トレース2 キョクカishi	トレース2 記憶開始
オートパン ノーマル	オートパン (設定に従う) 開始	トレース キョクシュウリョウ	トレース記憶終了
オートパン ハンテン	オートパン (ハンテン) 開始	ツアー1~16	ツアー1~16 開始
オートパン スキップ	オートパン (スキップ) 開始	アラームアクションキョカ	アラームアクション許可
オートパン ランダム	オートパン (ランダム) 開始	ファンクションA~Z	使用できません

[工場出荷時の短縮番号設定]

短縮番号は、あらかじめ機能を登録してあります。

以下の短縮番号をテンキーで入力し、SET キーを押すと、各機能を実行することができます。

短縮番号	工場出荷時の設定	説明	短縮番号	工場出荷時の設定	説明
------	----------	----	------	----------	----

● TOA-A (タイプ A) 専用

F1	オートフォーカス	オートフォーカス
F2	オートパン	オートパン開始
F3	プリセットシーケンス	プリセットシーケンス開始
F4	トレース	トレース開始
251	DVR メイ ヒョウジ	DVR 名表示
252	DVR メイ ショウキョ	DVR 名非表示
253	ズーム オン	ズームオン
254	ズーム オフ	ズームオフ
255	オートフォーカス	オートフォーカス
256	ヨビセッテン1 オン	接点1 オン
257	ヨビセッテン1 オフ	接点1 オフ
258	ヨビセッテン2 オン	接点2 オン
259	ヨビセッテン2 オフ	接点2 オフ
260	オートパン	オートパン開始
261	プリセットシーケンス	プリセットシーケンス開始
262	トレース	トレース開始

● TOA-B (タイプ B) 専用

311	プリセットシーケンスランダム	プリセットシーケンス (ランダム) 開始
312	プリセットシーケンス テスト	プリセットシーケンス (テスト) 開始
313	オートパン ノーマル	オートパン (設定に従う) 開始
314	オートパン ハンテン	オートパン (ハンテン) 開始
315	オートパン スキップ	オートパン (スキップ) 開始
316	オートパン ランダム	オートパン (ランダム) 開始
317	オートパン ピボット	オートパン (ピボット) 開始
318	タンテンセッテイ ヒダリ	オートパン端点設定 LEFT
319	タンテンセッテイ ミギ	オートパン端点設定 RIGHT
320	トレース 1	トレース1 開始
321	トレース 2	トレース2 開始
322	トレース1 キョクカishi	トレース1 記憶開始
323	トレース2 キョクカishi	トレース2 記憶開始
324	トレース キョクシュウリョウ	トレース記憶終了
325	ツアー1	ツアー1 開始
326	ツアー2	ツアー2 開始
327	ツアー3	ツアー3 開始
328	ツアー4	ツアー4 開始
329	ツアー5	ツアー5 開始
330	ツアー6	ツアー6 開始
331	ツアー7	ツアー7 開始
332	ツアー8	ツアー8 開始
333	ツアー9	ツアー9 開始
334	ツアー10	ツアー10 開始
335	ツアー11	ツアー11 開始
336	ツアー12	ツアー12 開始
337	ツアー13	ツアー13 開始
338	ツアー14	ツアー14 開始
339	ツアー15	ツアー15 開始
340	ツアー16	ツアー16 開始
341	アラームアクションキョカ	アラームアクション許可

● TOA-B (タイプ B) 専用

F1	オートフォーカス	オートフォーカス
F2	プリセットシーケンス NUM	プリセットシーケンス (番号順) 開始
F3	ツアー1	ツアー1 開始
F4	ツアー2	ツアー2 開始
301	DVR メイ ヒョウジ	DVR 名表示
302	DVR メイ ショウキョ	DVR 名非表示
303	ズーム オン	ズームオン
304	ズーム オフ	ズームオフ
305	オートフォーカス	オートフォーカス
306	ヨビセッテン1 オン	接点1 オン
307	ヨビセッテン1 オフ	接点1 オフ
308	ヨビセッテン2 オン	接点2 オン
309	ヨビセッテン2 オフ	接点2 オフ
310	プリセットシーケンス NUM	プリセットシーケンス (番号順) 開始

● カメラプロトコル

デジタルレコーダーに接続されたコンビネーションカメラのプロトコルを選択します。カメラプロトコルを選択すると、それぞれのプロトコルで使用できる短縮機能のみを表示します。工場出荷時は、TOA-Aに設定されています。

ご注意

異なる通信方式のコンビネーションカメラを1台のデジタルレコーダーに接続することはできません。すべてのカメラの通信方式は一致させてください。

- TOA-A : TOA 製コンビネーションカメラをデジタルレコーダーに接続し、通信方式をタイプ A に設定している場合に選択します。(デジタルレコーダーのカメラプロトコル: TOA-A)
- TOA-B : TOA 製コンビネーションカメラをデジタルレコーダーに接続し、通信方式をタイプ B に設定している場合に選択します。(デジタルレコーダーのカメラプロトコル: TOA-B)
- BOSCH : BOSCH 製コンビネーションカメラをデジタルレコーダーに接続し、使用する場合に選択します。
- PELCO-D : PELCO 製コンビネーションカメラをデジタルレコーダーに接続し、使用する場合に選択します。

通信方式ごとに使用できない機能(操作)があります。

以下の表を参考に通信方式を決定してください。

	アイリスキー	0 ポジション *1	オートキー
TOA-A (タイプ A)	×	×	○ *2
TOA-B (タイプ B)	○	○	△ *3

*1 0 ポジションとは、ホームポジションへ復帰させるための操作です。
テンキーで「0」を入力し、POS キーを押してください。

*2 コンビネーションカメラのオートキーキノウで設定された動作を開始します。
また、すべてのオート動作を終了します。(P. 22 「オート機能を動作させる」)

*3 オートパンを開始します。また、すべてのオート動作を終了します。

ご注意

TOA 製コンビネーションカメラには、通信方式がタイプ A (TOA-A) と、タイプ A/ B (TOA-A/ B) 切り換えの機器があります。

DIP スイッチの位置や切換方法は、コンビネーションカメラの設置説明書をお読みください。

- TOA-A (タイプ A) : C-CC501、C-CC504、C-CC551、C-CC554
- TOA-A/ B (タイプ A/ B) : C-CC511、C-CC514、C-CC571、C-CC574、C-CC602、C-CC704、C-CC711、C-CC714、C-CC724、C-CC771、C-CC774 (DIP スイッチにて切り換え)

● パスワード

パスワードを設定することでリモートコントローラーの操作レベルを設定することができます。各操作レベル毎の操作可・不可は以下の表を参考に設定してください。

	高  低			
	操作レベル 1	操作レベル 2	操作レベル 3	フルロック
メニュー設定	○	×	×	×
コピー	○	×	×	×
録画再生	○	○	×	×
緊急録画	○	○	△(*1)	×
トリプレックス	○	○	×	×
カメラ操作	○	○(*2)	×	×
ライブ画面操作	○	○	○	×
アラーム解除	○	○	×	×
ブザーストップ	○	○	○	○

操作レベル 1	設定変更、コピーを含む全ての操作にアクセスできます。いずれの操作レベルにあっても、操作レベル 1 のパスワードを入力することで、操作レベル 1 にログインができます。
操作レベル 2	ライブモードの操作と再生モードの操作が可能で、設定変更やコピー操作はできません。操作レベル 2 のパスワードを入力することで、操作レベル 2 にログインができます。
操作レベル 3	ライブモードの画面操作のみ可能です。緊急録画キーは、別途設定すれば使用できます。(*1) 操作レベル 3 のパスワードを入力することで、操作レベル 3 にログインができます。
フルロック	すべての操作ができません。操作レベル 3 が有効な場合（パスワード 3 が設定されている）、ログアウト時間が経過または操作レベル 3 をログアウトするとフルロックとなります。
ログアウト時間	1/ 5/ 10/ 30/ 60 分およびオフから選択できます。設定した時間だけ無操作状態が続くと、設定されている最も操作レベルの低い状態にログアウトします。 (例) 操作レベル 1、2 が有効な場合（パスワード 1、2 が設定されている）、ログアウト後の状態は操作レベル 3 となります。
緊急録画 操作者レベル 3	オンにすると、操作レベル 3 が有効な場合でも緊急録画キーを使用することができます。オフにすると、操作レベル 3 が有効な場合には緊急録画キーを使用できません。この設定にかかわらず、操作レベル 1 および 2 では緊急録画キーは使用でき、フルロックでは使用できません。

※ 工場出荷時の設定は、すべて「オフ」です。

(*1) 操作レベル 3 での緊急録画キーの使用可、不可は”緊急録画操作レベル 3”の設定により変更できます。

(*2) カメラメニューは表示できません。

[パスワードと操作レベルについて]

パスワードを設定していない場合は、操作レベル1になります。
 パスワードを設定している場合は、以下の表を参照してください。

パターン	設定したパスワード	パスワード			フルロック
		パスワード1	パスワード2	パスワード3	
1	パスワード1	○	△		
2	パスワード2	○	←	△	
3	パスワード3	○	←	←	△
4	パスワード1、2	○	○	△	
5	パスワード2、3	○	←	○	△
6	パスワード1、3	○	○	←	△
7	パスワード1、2、3	○	○	○	△

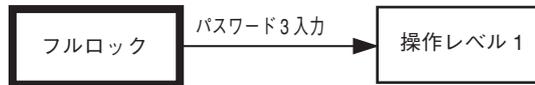
※ △は、ログアウトしたときのレベルになります。
 ←は、パスワードが設定されていないために操作レベルが存在しません。

ログインしたい操作レベルに応じたパスワードを入力してください。
 ログアウトすると、**□**の操作レベルになります。

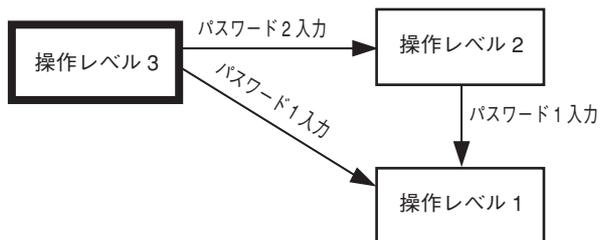
● パターン 1



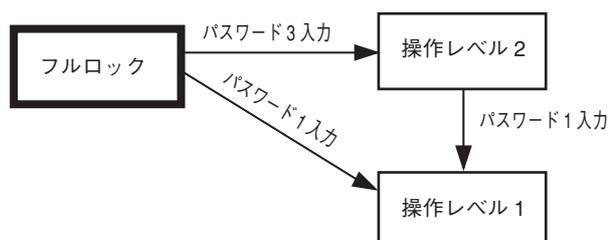
● パターン 3



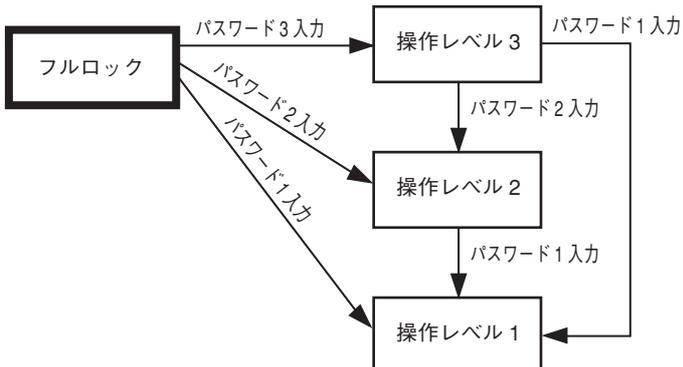
● パターン 4



● パターン 6



● パターン 7



[パスワードの設定方法]

- 1 メニュー表示中に「パスワード」を選択し、SETキーを押す。
- 2 ジョイスティックを左右に倒して操作レベルを選択し、SETキーを押す。
- 3 ジョイスティックを左右に倒して「オン」を選択し、SETキーを押す。
- 4 テンキーでパスワード（6桁の数字）を入力する。
- 5 操作レベル2、3を設定するときには、手順2～4を繰り返す。

パスワード	
1.レベル1	オン

パスワード	
1.レベル1	*****

● フォーカススピード

フォーカスキーを押したときのレンズスピードを4段階で調整することができます。

- 1 メニュー表示中に「フォーカススピード」を選択し、SETキーを押す。
- 2 ジョイスティックを左右に倒してスピードを選択し、SETキーを押して確定する。

フォーカススピード
>>>>

※ 工場出荷時の設定は、「>>>>」（最速）です。

● ブザー

ブザーを鳴らすか鳴らさないかを設定します。

- 1 メニュー表示中に「ブザー」を選択し、SETキーを押す。
2行目に設定内容が表示されます。
- 2 ジョイスティックを左右に倒して設定内容を選択し、SETキーを押して確定する。

ブザー
1.オン

[設定内容]

1. オン	アラーム入力時、緊急録画時、デジタルレコーダー機器異常時にブザーを鳴らします。
2. オフ	アラーム入力時、緊急録画時、デジタルレコーダー機器異常時にブザーを鳴らしません。

※ 工場出荷時の設定は、「1. オン」です。

● キークリック音

キーを押す時のクリック音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

- 1 メニュー表示中にジョイスティックを左右に倒して「キークリックオン」を選択し、SET キーを押す。
2 行目に設定内容が表示されます。

キークリックオン
1. オン

- 2 設定内容を選択し、SET キーを押して確定する。

[設定内容]

1. オン	キーを押したときのクリック音を鳴らします。
2. オフ	キーを押したときのクリック音を鳴らしません。

※ 工場出荷時の設定は、「1. オン」です。

● I/O スピード

DVR 制御出力端子の通信速度を設定します。
工場出荷時の設定は、「38400」です。

- 1 メニュー表示中に「I/O スピード」を選択し、SET キーを押す。

I/O スピード
38400

- 2 ジョイスティックを左右に倒して、通信速度を選択する。
通信速度は、「9600」「19200」「38400」から選択します。

I/O スピード
19200

【ご注意】

制御端子に接続されている機器と同じ通信速度に設定してください。デジタルレコーダー（C-DR091 / 161 シリーズ、C-DV091W-6）、インターフェースユニット（C-RF1000）の工場出荷時の設定は「38400 bps」です。

- 3 SET キーを押して、通信速度を確定する。

● DVR チェック

制御端子に接続されているデジタルレコーダーをチェックします。

メニュー表示中に「DVR チェック」を選択し、SET キーを押して確定する。

接続されているデジタルレコーダーの番号が表示されます。

DVR チェック

メモ

カスケード接続時に DVR チェックを行うと、すべてのデジタルレコーダーの番号が表示されます。接続されているのに番号が表示されない場合は、通信が確立していない可能性があります。以下の内容を確認してください。

- 接続端子は正しく接続されていますか
- リモートコントローラーとデジタルレコーダーの通信速度は一致していますか
- デジタルレコーダーの DVR-ID 番号は正しく設定されていますか

● モニターロック

リモートコントローラーを複数台接続するシステムでモニターロックを設定した場合、操作できるモニターを限定できます。モニターを切り換える操作が不要となり、誤操作を防止することができます。
また、短縮機能と組み合わせると短縮設定を簡単にすることができます。(P.41 「短縮」)
モニターロックは、以下のシステム例を参考に設定してください。

1 メニュー表示中に「モニターロック」を選択し、SETキーを押す。

2行目にDVR番号の選択画面が表示されます。

```
モニターロック
DVR バンコウ 1
```

2 DVR番号を選択し、SETキーを押す。

2行目にモニター番号の選択画面が表示されます。

```
モニターロック
モニターバンコウ 1
```

3 モニター番号を選択し、SETキーを押す。

4 設定内容を選択し、SETキーを押して確定する。

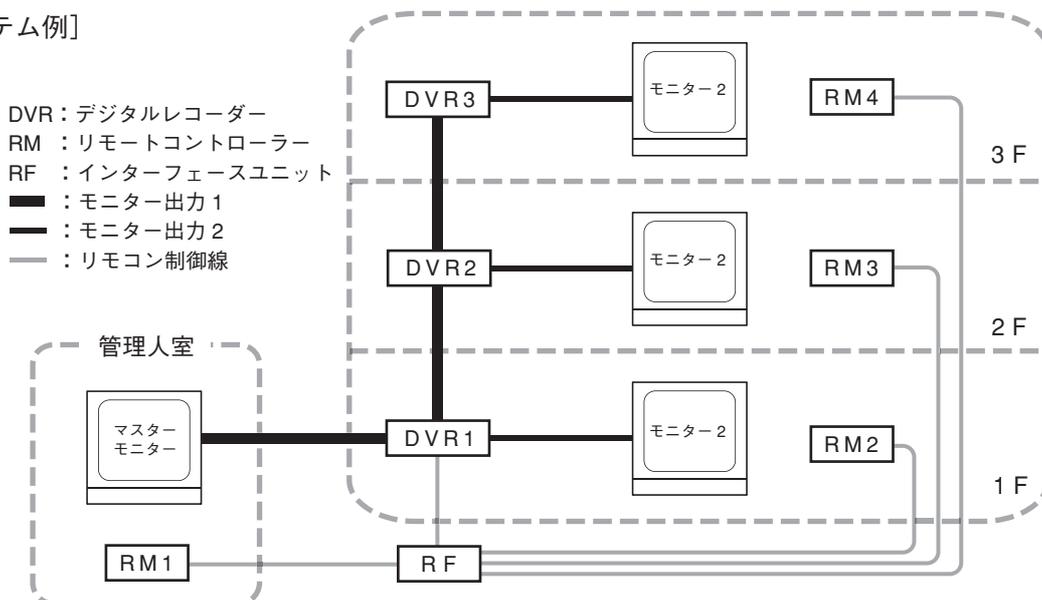
```
モニターロック
1. ロック
```

[設定内容]

1. ロック	映像は表示されますが、設定したモニターの操作、選択ができません。
2. アンロック	設定したモニターの操作、選択が可能です。

※ 工場出荷時の設定は、「2. アンロック」です。

[システム例]



[設定例]

リモート コントローラー デジタルレコーダー	RM1 ※1		RM2 ※2		RM3 ※2		RM4 ※2	
	ロック	アンロック	ロック	アンロック	ロック	アンロック	ロック	アンロック
DVR1	モニター-2	モニター-1	モニター-1	モニター-2	モニター-1, 2	—	モニター-1, 2	—
DVR2	モニター-2	モニター-1	モニター-1, 2	—	モニター-1	モニター-2	モニター-1, 2	—
DVR3	モニター-2	モニター-1	モニター-1, 2	—	モニター-1, 2	—	モニター-1	モニター-2

ご注意 ※1 マスターモニターを操作するため、カスケード接続されたすべてのデジタルレコーダー (DVR1~3) のモニター1を“ロック”しないでください。

※2 操作するモニターだけを“アンロック”にして、操作しないモニターはすべて“ロック”してください。

● 言語

液晶画面に表示される言語を設定します。

- 1 メニュー表示中に「ゲンゴセンタク」を選択し、SET キーを押す。
2 行目に設定内容が表示されます。

ゲンゴセンタク 1. ニホンゴ

- 2 ジョイスティックを左右に倒して設定内容を選択し、SET キーを押して確定する。

[設定内容]

1. 日本語	液晶画面に表示する言語を日本語にします。
2. 英語	液晶画面に表示する言語を英語にします。

※ 工場出荷時の設定は、「1. 日本語」です。

● 出荷状態

設定値を工場出荷時に戻します。

ご注意 工場出荷時の設定に戻しても、短縮内容は消去されません。

- 1 メニュー表示中に「セッテイシヨキカ」を選択し、SET キーを押す。

セッテイ シヨキカ シッコウ

- 2 SET キーを押して確定する。
キャンセルするときは、C キーで戻ります。

● 拡張

使用できません。

接続のしかた

■ 機器の接続について

- 制御端子間の接続にはCPEV-S（対よりシールドケーブル）φ 0.65 mm 以上を使用してください。また、シールド線は必ず「GND」端子に接続してください。
- リモートコントローラーから終端に設定されたデジタルレコーダーまでの制御線の延長距離は、最長で1.2 km です。
- システムに接続される機器の通信速度は、すべて一致させてください。
- 本機に付属されたモジュラーケーブル（3 m）でデジタルレコーダーと接続するときは、デジタルレコーダーより電源が供給されるため、ACアダプターは不要です。本機のスクリューレス端子を使用するときは、付属のACアダプターを接続し、電源を供給してください。

● コンビネーションカメラ

- デジタルレコーダーは1台あたり最大16台（9局用：最大9台）のコンビネーションカメラを操作することができます。デジタルレコーダーのカメラ制御端子には、デジタルレコーダーの局数以上にコンビネーションカメラを接続しないでください。
- コンビネーションカメラの制御には、必ずデジタルレコーダーが必要です。本機を直接カメラに接続して制御することはできません。
- コンビネーションカメラの通信方式には、タイプAとタイプBの2種類があります。（[P. 45](#)「カメラプロトコル」）異なる通信方式のコンビネーションカメラを1台のデジタルレコーダーに接続することはできません。すべてのカメラの通信方式は一致させてください。
- コンビネーションカメラ・デジタルレコーダー・リモートコントローラーの通信速度を一致させてください。（[P. 49](#)「I/Oスピード」）
- コンビネーションカメラのアドレスは、デジタルレコーダーの映像入力番号と一致させてください。リモートコントローラーで入力するカメラ番号がコンビネーションカメラのアドレス番号になります。

● デジタルレコーダー

- デジタルレコーダーは最大8台までカスケード接続し、リモートコントローラーで操作することができます。
- デジタルレコーダーをカスケード接続する場合は、システムの最後に接続されているデジタルレコーダーの終端スイッチを「入」にしてください。
- デジタルレコーダーのリモコン通信応答の設定は、必ず“する”にしてください。
- デジタルレコーダーをカスケード接続する場合は、デジタルレコーダーの「DVR-ID」を設定する必要があります。

ご注意 デジタルレコーダーのメニューから設定する方法と、デジタルレコーダー前面のキー操作で設定する方法があります。詳しくは、デジタルレコーダーの取扱説明書をお読みください。

- リモコン入力端子AとBのそれぞれにリモートコントローラーを2台同時に接続しないでください。正しく操作できなくなります。2台以上のリモートコントローラーを接続するときは、インターフェースユニットを使用してください。

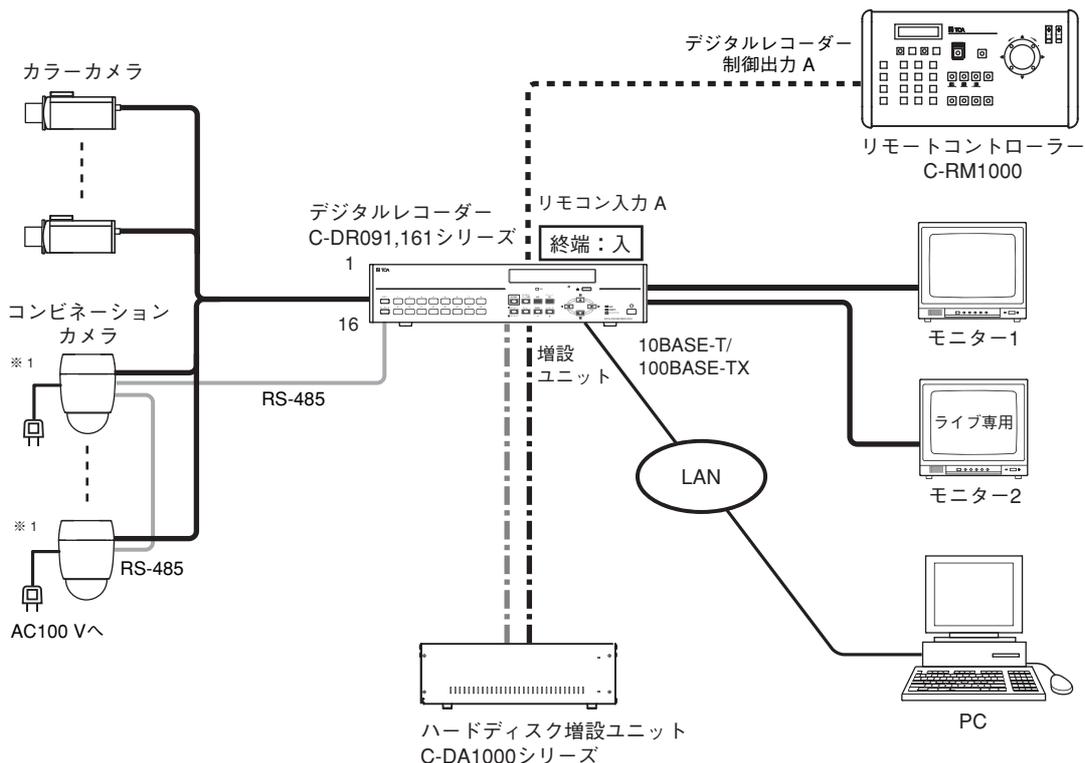
● インターフェースユニット

- インターフェースユニットを使用すると、リモートコントローラーを最大で4台まで増設することができます（RS-232C端子を使用中は、最大3台まで）。リモートコントローラーを複数台接続し、操作できるモニターを限定したい場合は、モニターロックを設定してください。（[P. 50](#)「モニターロック」）
- 複数台のリモートコントローラーの操作は、後優先となります。
- インターフェースユニットとデジタルレコーダー間の通信速度は38,400 bpsに固定されています。インターフェースユニットを使用するときは、デジタルレコーダーのリモコン通信速度を38,400 bpsに設定してください。

- インターフェースユニットに接続する機器の通信速度は、すべて一致させてください。また、インターフェースユニットのDIPスイッチは、リモートコントローラーの通信速度と一致させてください。
- インターフェースユニットを使用するときは、リモートコントローラーへの電源は、付属のACアダプターから供給します。

■ システム例

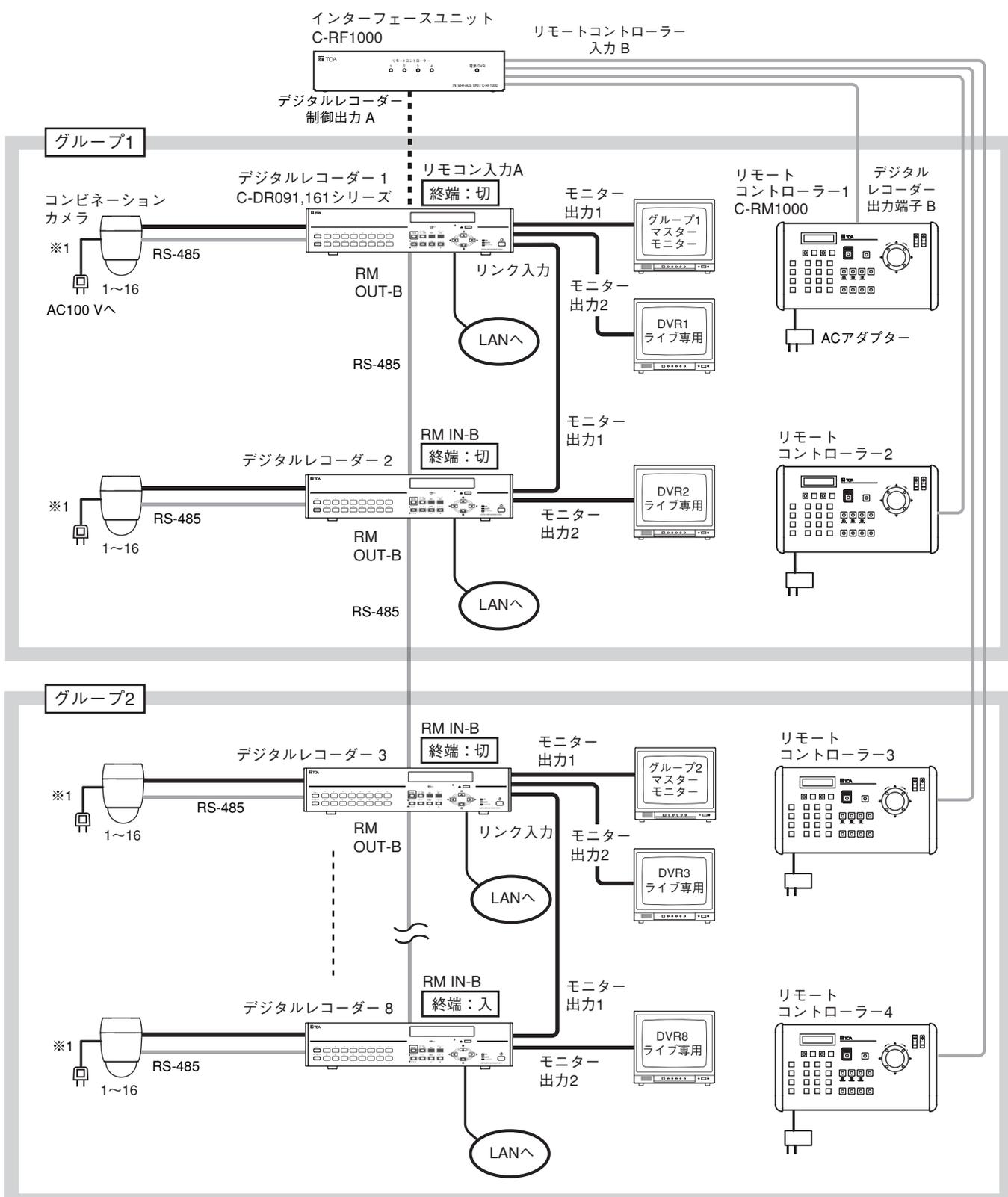
● 基本システム



※1 コンビネーションカメラのアドレスは、デジタルレコーダーの映像入力番号と一致させてください。

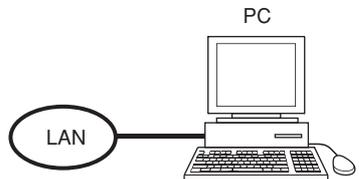
- : 同軸ケーブル (映像信号)
- : CPEV-S 0.65-2C (RS-485 制御線)
- : モジュラーケーブル 3 m (C-RM1000 付属)
- : モジュラーケーブル 1 m (ハードディスク増設ユニット付属)
- : eSATA ケーブル 1 m (ハードディスク増設ユニット付属)

● デジタルレコーダー拡張システム（カスケード接続）



————— : 同軸ケーブル（映像信号）
 - - - - - : CPEV-S 0.65-2C（RS-485 制御線）
 : モジュラーケーブル 3m（C-RM1000 付属）

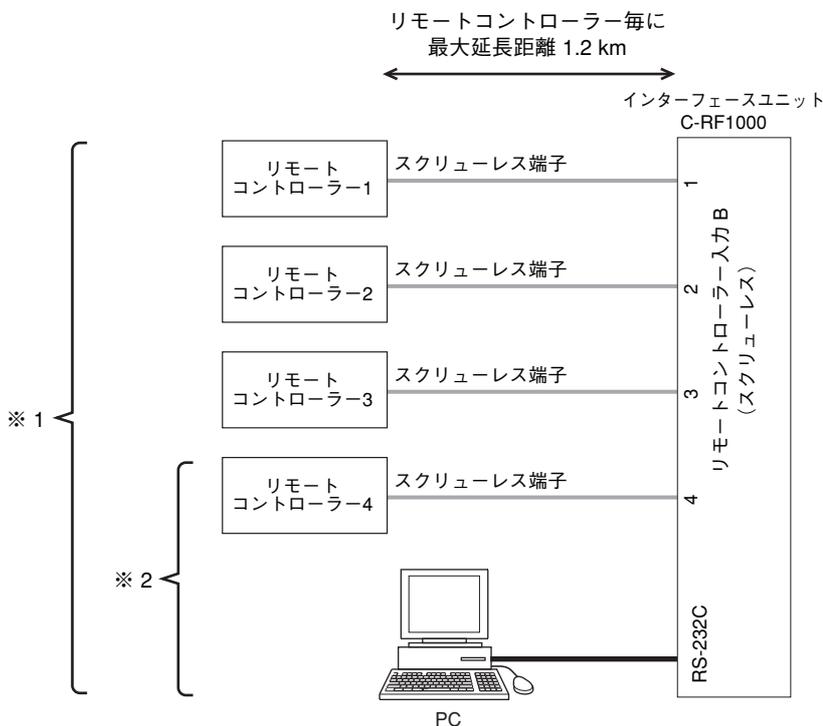
※1 コンビネーションカメラのアドレスは、デジタルレコーダーの映像入力番号と一致させてください。



● リモートコントローラーとデジタルレコーダーとの接続

[インターフェースユニット C-RF1000 を接続する場合]

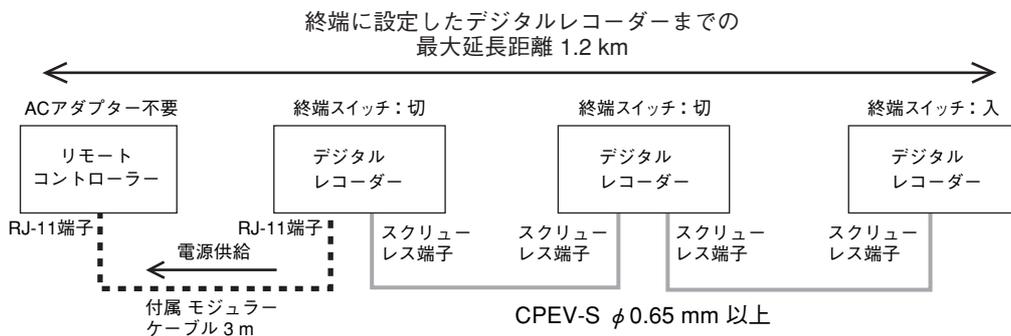
リモートコントローラーからインターフェースユニット間、インターフェースユニットから終端のデジタルレコーダーまでの、それぞれのケーブルの最大延長距離は 1.2 km です。



【ご注意】

- ※ 1 インターフェースユニットに接続する機器の通信速度は、すべて一致させてください。また、インターフェースユニットの DIP スイッチも、リモートコントローラーの通信速度と一致させてください。
- ※ 2 インターフェースユニットのリモートコントローラー入力端子 4 と RS-232C 端子は、同時に使用できません。どちらか一方のみ接続してください。

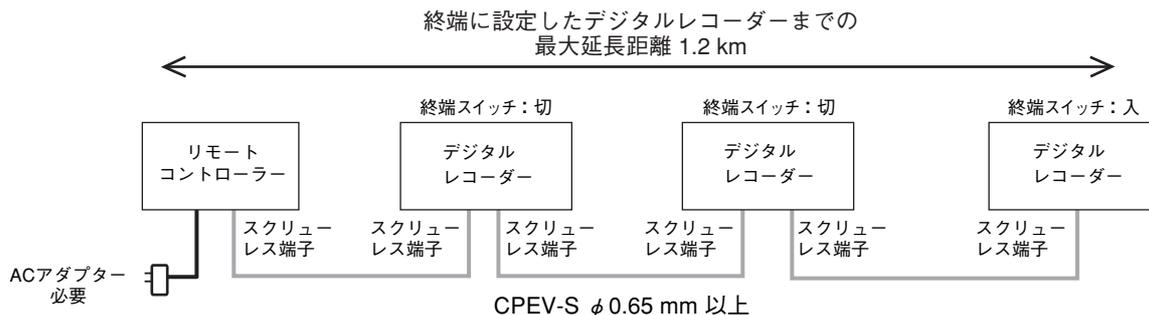
[リモートコントローラーを専用ケーブルで接続する場合]



【ご注意】 ACアダプターは接続しないでください。

[リモートコントローラーを延長する場合]

リモートコントローラーの電源はACアダプターより供給します。



デジタルレコーダーの異常表示

デジタルレコーダーの異常をリモートコントローラーで確認することができます。

リモートコントローラーの表示と状態

: 赤点滅

液晶画面	ブザー停止 解除キー	ブザー*	デジタルレコーダーの異常状態
		○	液晶画面に表示された番号のデジタルレコーダーにハードディスクエラー、ビデオロス、ファン異常のいずれかが発生しています。デジタルレコーダーの異常ログを確認し、対処してください。詳しくは、デジタルレコーダーの取扱説明書をお読みください。
		○	液晶画面に表示された番号のデジタルレコーダーのハードディスクがいっぱいになっています。デジタルレコーダーの異常ログを確認し、対処してください。詳しくは、デジタルレコーダーの取扱説明書をお読みください。

* リモートコントローラーのブザー音を「オン」に設定している場合

ご注意

デジタルレコーダーの異常が復旧すると、異常があったことを表示するためにブザー停止/アラーム解除キーが点灯します。消灯させるには、ブザー停止/アラーム解除キーを2秒以上押してください。

● ブザーを停止する

ブザー停止/アラーム解除キーを押す。
ブザーが停止します。



故障かな？と思ったら

症 状	調べるところ	対 処
リモートコントローラーの電源が入らない	[付属のモジュラーケーブルを使用している場合]	<ul style="list-style-type: none"> ● 正しく接続してください。 ● コンセントにつないでください。 (デジタルレコーダーはスタンバイ中でも、リモートコントローラーに電源を供給します。)
	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタルレコーダーと付属のモジュラーケーブルで確実に接続されていますか？ ● デジタルレコーダーの電源は、コンセントにつながっていますか？ 	
	[ACアダプターを使用している場合]	<ul style="list-style-type: none"> ● 正しく接続してください。
リモートコントローラーからデジタルレコーダーを操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタルレコーダーの電源は入っていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を入れてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 操作したいデジタルレコーダーを選択できていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 正しく機器を選択してください。 (参照 P. 13 「操作する機器を選択する」)
	<ul style="list-style-type: none"> ● リモートコントローラーのパスワードは設定されていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● パスワードを入力し、操作したいレベルにログインしてください。 (参照 P. 33 「ログインとログアウト」)
	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタルレコーダーのパスワードは設定されていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● パスワードを入力し、操作したいレベルにログインしてください。 (参照 P. 32 「デジタルレコーダーのパスワードを入力する」)
	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタルレコーダーのUSB キーが抜けていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● USB キーを差ししてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 操作したいデジタルレコーダーに対して操作権限はありますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ設定のコントロールを「オン」に設定してください。 (参照 P. 40 「グループ設定」)
	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターロックがかかっていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターロックの設定を「アンロック」に設定してください。 (参照 P. 50 「モニターロック」)
	<ul style="list-style-type: none"> ● リモートコントローラーはデジタルレコーダーと通信できていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● DVR チェックを行い、操作したいデジタルレコーダーを認識しているか確認してください。(参照 P. 49 「DVR チェック」)
リモートコントローラーからコンビネーションカメラを操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 操作したいコンビネーションカメラを選択できていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 正しく機器を選択してください。 (参照 P. 13 「操作する機器を選択する」)
	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラアドレスは合っていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラアドレスとデジタルレコーダーの映像入力番号を一致させてください。(参照 P. 52 「機器の接続について」)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信方式は一致していますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信方式を一致させてください。 (参照 P. 45 「カメラプロトコル」)

リモートコントローラー操作ガイド

操 作 項 目	操作方法 (キー操作)	表 示 状 態	備 考	参 照 ページ
● 操作する機器を選択する				
デジタルレコーダーを選択する	テンキー (DVR 番号) + DVR キー	液晶画面に DVR 番号表示、DVR 点灯		P. 13
モニターを選択する	モニターキー	液晶画面にモニター番号表示	押すごとにモニター 1 と 2 を切り換え	P. 13
カメラを選択する	テンキー (カメラ番号) + カメラキー	液晶画面にカメラ番号表示、カメラキー点灯		P. 14
グループを選択する	シフトキー + テンキー (グループ番号) + DVR キー	液晶画面にグループ番号 (G_) を表示	グループ設定時のみ	P. 13
● モニターに表示させる				
1 画面表示する	テンキー (カメラ番号) + 1 画面キー	1 画面キー点灯		P. 15
多画面表示する	多画面キー	多画面キー点灯	押すごとに多画面を順次切り換え	P. 16
4 分割画面表示する	シフトキー + 1 画面キー	多画面キー点灯	同じ操作を繰り返し分割画面を順次切り換え	P. 16
9 分割画面表示する	シフトキー + 多画面キー	多画面キー点灯		P. 17
16 分割画面表示する	シフトキー + シーケンスキー	多画面キー点灯		P. 17
画面配置を変更する	ライブモード中 + 多画面中 + 多画面キー長押し			P. 18
シーケンス表示する	シーケンスキー	シーケンスキー点灯	デジタルレコーダーで設定されたシーケンス動作を行う	P. 18
● コンビネーションカメラを操作する (ライブ画面表示中のみ操作可能)				
1 画面でカメラ操作する	テンキー (カメラ番号) + 1 画面キー	1 画面キー点灯		P. 15
多画面でカメラ操作する	多画面中 + テンキー (カメラ番号) + カメラキー	多画面キー点灯		P. 16
カメラを旋回させる	カメラ選択中 + 上、下、左、右		コンビネーションカメラのみ	P. 21
カメラを望遠 (広角) で見る	カメラ選択中 + 望遠 (広角)			P. 21
フォーカス調整する	カメラ選択中 + フォーカスキー (+)、(-)			P. 21
アイリス調整する	カメラ選択中 + アイリスキー (+)、(-)		コンビネーションカメラタイプ B のみ	P. 22
オートパン動作させる	カメラ選択中 + オートキー	オートキー点灯	オートキー長押しでオート動作終了	P. 22
プリセットポジションを記憶させる	カメラ選択中 + テンキー (ポジション番号) + シフトキー + ポジションキー長押し	液晶画面にプリセットキオクを表示	コンビネーションカメラのみ	P. 24
プリセットポジションを消去する	カメラ選択中 + テンキー (ポジション番号) + シフトキー + C キー長押し	液晶画面にプリセットショウキョを表示		P. 24
プリセットポジションを選択する	カメラ選択中 + テンキー (ポジション番号) + ポジションキー	液晶画面にポジション番号表示		P. 22
カメラメニューを表示する	カメラメニューキー 長押し	モニター 1 にカメラメニューを表示	再度カメラメニューキー長押しでカメラメニュー終了	P. 23
● デジタルレコーダーを操作する				
緊急録画する	緊急録画キー	緊急録画キー点滅	緊急録画キー長押しで緊急録画停止	P. 25
ブザーを停止する	ブザー停止 / 解除キー			P. 35
再生する	再生 / ライブキー	モニター 1 ▶ 再生	再生モードに切り換わる	P. 26
再生停止する	再生 / ライブキー	再生 / ライブキー消灯	ライブモードに切り換わる	P. 27
逆再生する	再生中 + 左	モニター 1 ◀ 逆再生		P. 26

操 作 項 目	操作方法 (キー操作)	表 示 状 態	備 考	参 照 ペ ー ジ
● デジタルレコーダーを操作する				
早送り再生する	再生中 + 右	モニター 1▶▶再生 ×2 (×4、×8)	ジョイスティックの傾きにより速度が変わる。 (SET キーで速度を固定)	P. 27
早戻し再生する	再生中 + 左	モニター 1◀◀逆再生 ×2 (×4、×8)		P. 27
1分 / 10分送りで再生する	望遠	モニター 1▶▶再生 ×1分 (×10分)	ジョイスティックを回す角度により飛ばす時間が変わる。 (SET キーで速度を固定)	P. 27
1分 / 10分戻しで再生する	広角	モニター 1◀◀逆再生 ×1分 (×10分)		P. 27
一時停止する	再生中 + 下	モニター 1 一時停止		P. 27
一時停止を解除する	一時停止中 + 上			P. 27
コマ送り再生する	一時停止中 + 右			P. 28
コマ戻し再生する	一時停止中 + 左			P. 28
イベント飛ばし (送り)	一時停止中 + フォーカスキー (+)			P. 28
イベント飛ばし (戻し)	一時停止中 + フォーカスキー (-)			P. 28
最古映像を再生する	アイリスキー (+)		上書許可で録画中は使用できません	P. 28
最新映像を逆再生する	アイリスキー (-)			P. 28
検索する	検索キー	モニター 1に検索メニューを表示	検索方法を選択し、望遠にて決定する	P. 29
デジタルレコーダーメニューを表示する	DVR メニュー 長押し	モニター 1にデジタルレコーダーメニューを表示する		P. 29
コピーメニューを表示する	一時停止中 + メニューキー 長押し	モニター 1にコピーメニューを表示		P. 30
トリプレックスを設定する	再生モード + 多画面中 + 多画面キー 長押し			P. 31
デジタルレコーダーのパスワードを入力する	ログイン画面表示中 + テンキー + 1画面キー (繰り返し) + SET	入力数値は * * * * * にて表示		P. 32
● その他の操作				
ログインする	メニュー長押し ログインを選択しパスワード入力			P. 33
ログアウトする	メニュー長押し ログアウトを選択			P. 33
短縮機能	テンキー (短縮番号) + SET			P. 34
アラーム解除	アラーム中 + ブザー停止 / 解除キー 長押し			P. 35
アラーム保留	保留キー			P. 35
アラーム保留解除	保留キー 長押し			P. 35
● 設定のしかた・基本操作				
メニューを表示する	メニュー長押し		パスワード設定時は操作レベル 1 でのみ表示可	P. 39
選択項目を移動する	メニュー表示中 + 上、下、左、右			P. 39
設定を決定する	メニュー表示中 + 望遠 または SET キー		カメラメニュー中は SET キーのみ使用可	P. 39
設定をキャンセルする	メニュー表示中 + 広角 または C キー		カメラメニュー中は C キーのみ使用可	P. 39
メニューを終了する	メニュー長押し			P. 39

メモ 長押し：キーを 2 秒以上押してください。

仕 様

電 源	AC100 V 50 / 60Hz (付属 AC アダプター使用) DC12 V (デジタルレコーダーより供給)
消 費 電 力	6.4 W (付属の AC アダプター使用時)
D V R 制 御 端 子	RS-485 : 1 系統 RJ-11 (6P 6C) (付属モジュラーケーブル 3 m を使用時) RS-485 : スクリューレスコネクター (3P) (配線長 3 m 以上または C-RF1000 (別売) 使用時)
警 報 音	連続警報音 (メニューにより ON/ OFF 可能)
最 大 延 長 距 離	1.2 km *1
機 能	パスワード設定、DVR グループ設定、短縮機能 (512 種類)、プリセット設定、 言語選択 (日本語 / 英語)
使 用 温 度 範 囲	0 ~ +40 °C
使 用 湿 度 範 囲	80%RH 以下 (ただし、結露のないこと)
仕 上 げ	パネル : 表面処理鋼板、シルバー、塗装 側面部 : ゴム
寸 法	323.6 (W) × 112.7 (H) × 181 (D) mm
質 量	1.6 kg (AC アダプターを除く)

*1 本機とデジタルレコーダーがそれぞれ 1 対 1 のシステムの場合
(1 つのシステムに複数台のデジタルレコーダーがあるときは、システム間の接続距離の合計)

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

AC アダプター (1.8 m) 1
モジュラーケーブル (3 m) 1

● 別売品

デジタルレコーダー : C-DR091 / 161 シリーズ、C-DV091W-6
インターフェースユニット : C-RF1000



商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。

TOA お客様相談センター
商品の内容・組み合わせ・取り扱い方法や修理に関するご相談にお応えします。
受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)

フリーダイヤル 0120-108-117
ナビダイヤル 0570-064-475 (有料)
FAX 0570-017-108 (有料)
※ PHS、IP 電話からはつながりません。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>

133-22-068-5B